



特集

『協働のまちづくり』

を考える

第4回全国大学政策フォーラム in 登別

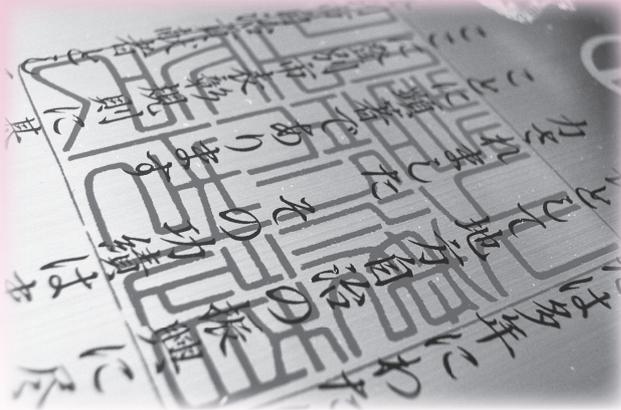
【写真】 登別縄文どきどきまつり『弓矢体験』（10月3日(土)・カント・レラ）

もくじ

- 平成21年度登別市功労者表彰登別市表彰…… 2
- 『協働のまちづくり』を考える…………… 4
- 西胆振のまちづくり…………… 8
- あなたも、わたしも、自分らしく!!……………10
- 東奔西走……………12
- ダメ！高齢者虐待・仲間たち……………14
- 情報あらかると……………15
- 議会だより『でいすかす』……………32
- となりまちホットライン……………36

平成21年度

# 登別市功労者表彰 登別市表彰



登別市功労者表彰・登別市表彰は、永年にわたり登別市の行政や社会福祉などに貢献された方や団体に対し、表彰を行うものです。

このたびの受賞者は、市功労者表彰7人、市表彰17人（自治貢献表彰8人、社会貢献表彰2人、教育文化貢献表彰6人、篤志貢献表彰1人）で、11月3日(火)に市民会館で表彰式を行います。

## ～登別市功労者表彰～

永年にわたり町内会長として市勢の発展と振興に尽力されるとともに文化団体役員として文化の振興に尽力されました。



佐藤 逸夫さん

永年にわたり国民健康保険運営協議会委員、健康づくり推進協議会委員として市政の発展に尽力されました。



山谷 つね子さん

永年にわたり社会教育委員長をはじめ子ども会役員として社会教育の振興に尽力されるとともに民生委員児童委員として社会福祉の向上に尽力されました。



川島 芳治さん

永年にわたり民生委員児童委員として社会福祉の向上に尽力されました。



近藤 トシ子さん

草塩 忠幸さん



永年にわたり登別建設協会会長をはじめ役員として産業の振興に尽力されるとともに交通安全協会会長として交通安全思想の啓発や交通事故防止に尽力されました。

森口 達さん



永年にわたり民生委員児童委員として社会福祉の向上に尽力されました。

高橋 恒夫さん



永年にわたり学校歯科医として児童生徒の健康管理や学校環境衛生の向上に尽力されました。

## 登別市表彰

### 自治貢献表彰

岸 明司さん

神 藤男さん

多年にわたり町内会長をはじめ役員として市勢の発展と振興に尽力されました。

赤間 虎雄さん

新井 正昭さん

廣瀬 淑子さん

片山 徹雄さん

沼倉 正明さん

河村 清美さん

多年にわたり町内会役員として市勢の発展と振興に尽力されました。

### 社会貢献表彰

高橋 敏夫さん

多年にわたり民生委員児童委員として社会福祉の向上に尽力されました。

武田 周造さん

多年にわたり森林愛護組合役員として産業の振興に尽力されました。

### 教育文化貢献表彰

須田 諒子さん

上石 玲子さん

多年にわたり文化団体役員として芸術文化の振興に尽力されました。

志賀 武夫さん

蛭子 武大さん

多年にわたり体育団体役員として体育の振興に尽力されました。

永井 八重子さん

目黒 千恵子さん

多年にわたり体育指導委員会委員として体育の振興に尽力されました。

### 篤志貢献表彰

小原 茂昌さん

公共用地として土地を寄附され市勢の振興に尽力されました。

問い合わせ 総務グループ (☎85) 1130



# 『協働のまちづくり』を考える

## 特集 第4回全国大学政策フォーラムin登別

8月10日(月)から12日(水)までの3日間、登別市に自治政策などを学ぶ大学生たちが集い、市民との意見交換やフィールドワークなどから、まちづくりの実態を学び、政策などの発表と議論を行う『第4回全国大学政策フォーラムin登別』が行われました。

今月号では、その内容についてお知らせします。



### 全国大学政策フォーラムとは

地方自治体は、地方分権改革の進展などにより、担う役割と責任が大きくなる中、財政問題や少子高齢化などさまざまな問題を抱えています。こうした社会の要請にこたえるため、全国の大学では、政策系の大学院や学部が年々増加する傾向にあります。自治体の実情を検証した上で政策を提言する機会がほとんどありませんでした。

このような状況を踏まえ、同志社大学をはじめとする全国の大学や市議会、商工会議所、観光協会、市などで構成する実行委員会により、自治体政策などを学ぶ大学生が、登別市に集い、自治体などへの政策提言や議論を行う『全国大学政策フォーラム』を平成18年から開催しています。

『市民自治ネットワークエネレーションの創造〜協働のまちづくりを進めるために〜』をテーマに行われた今年のフォーラムには、立教大学、岩手県立大学、日本大学、埼玉大学、同志社大学のほか、道内から小樽商科大学、室蘭工業大学が参加し、過去最大の7大学14グループ、104人が登別市に集いました。

### 協働のまちづくりを進めるために…

8月10日(月)に登別市に到着した学生たちは、市内一円をバスで見学。11日(火)には、市役所を拠点に、市内の企業やまちづくり団体、町内会、市職員などにインタビューし、まちの現状や課題を確認するなど、グループ発表の資料収集を行いました。12日(水)には、グループ発表が行われ、『協働のまちづくりを進めるために』という難しいテーマに、さまざまな視点から登別のまちづくりに向けた発表がされました。その結果、最優秀賞には、埼玉大学経済学部斎藤ゼミ、優秀賞には日本大学法学部外山ゼミナールAが輝きました。また、特に実現性の高い政策発表をしたグループに贈られる登別市長賞には同志社大学大学院総合政策科学研究科今川ゼミBが、斬新でユニークな発表をしたグループに贈られる登別市議会議長賞には日本大学法学部外山ゼミナールBチームが選ばれたほか、政策マネジメント研究所賞には同志社大学政策学部風間ゼミが選ばれました。

その後、同志社大学の今川教授をコーディネーターに、入賞したグループの代表と登別市市民自治推進委員会の木村副会長、登別まちづくり促進期成会の成田会長によるパネルディスカッションが行われました。

それでは、登別市に集った若者たちが発表した政策とパネルディスカッションの一部を紹介します。

最優秀賞

埼玉大学経済学部斎藤ゼミ

地熱発伝

『行政情報』から『地域情報』へ  
郷土愛を育む広報紙づくり

市民自治の実現に必要なもの、それは住民一人一人の郷土愛であり、そのためには、地域情報の継続的な提供が必要であるとわたしたちは考えます。

地域情報とは、人や場所が特定できるリアリティーのある情報で、単なる行政のお知らせではない情報を言います。地域情報を提供するには、市民の89%が閲覧している広報紙を活用することが最も効果的です。

広報のほりべつは、市民が必要とすることを正確かつ迅速に知らしめることが大切であるとする方針から行政情報が中心の広報と言えます。実際に広報紙を調べてみると、行政情報が87%、地域の情報が13%と地域情報がとても少ないことが分かりました。

そこでわたしたちは、必要な行政情報を提供しつつ、地域情報を充実させ、郷土愛が深まる広報紙の作成基本方針を提言したいと思います。

この方針を実践していくため4つの具体案を考えました。1つ目に情報収集の強化です。地域情報を収集するため『ぬぶる・ペーパー』を配布する。これは、市民のエピソードや意見を提供してもらうためのもので、市民の声をピックアップしやすくするものです。募集方法は、広報紙に挟み込み配布し、スーパーや行政機関などの回収ボックスに入れてもらいます。『ぬぶる・ペーパー』によって、地域情報をもっと集まると思っています。

2つ目に評価体制の充実です。広報の評価基準を『郷土愛が深まるか』を基準にする評価とし、紙面改革の意思決定の場としてモニター会議を開催します。また、その成果を公表することで、市民にモニター制度が理解さ



れ、応募する市民も増えることが期待されます。

3つ目に行政情報の地域化です。記事の数が必須なら地域情報を増やした場合、行政情報が減ってしまうと考えてしまいますが、行政情報に日々のエピソードや意見を取り込み、郷土愛が深まる性質を持たせることで地域情報を増やすことができます。

4つ目にレイアウトの見直しです。『東奔西走』は地域情報であふれており、郷土愛を深めるために重要なコーナーであると考えられますが、市民の20%にしか読まれていません。原因は何なのでしょう。レイアウトが単調でメリハリがないためです。この解決手段として、優先順位に合わせて記事を大きくしたり、サイズを変えメリハリをつけることで、読者が増えると考えます。

これらの4つの効果を合わせることで、登別市の郷土愛の増加が実現されると考えました。広報紙を活用して地域情報を継続的に提供することで、郷土愛が深まり、市民自治の基盤が強化されます。わたしたちは地域情報を継続的に提供するというを発伝という言葉に、郷土愛を深めるということ、地熱という言葉に置き換えて、『地熱発伝』という4文字に思いを託し、提言の発表とします。

優秀賞

日本大学法学部外山ゼミナールA

『N.U計画』

～次の世代を育てる社会～

市民アンケート調査では、ほとんどの人が文化に関心を持っていると回答する一方、63%の人が文化に接する機会が少ないと感じています。この問題を踏まえ、わたしたちは文化活動への参加機会を作り出し、世代間交流の促進と財政面を配慮した、郷土かるたを提言します。

郷土かるたとは、地域の文化・伝統などを題材としたもので、自分が生まれ育った地域を知るツールとなるものです。かるたは、さまざまな人々が協力して作ります。予算を編成する市。授業に活用する小学校。子どもたちに指導するPTA。大会を実施する文化協会や文化・スポーツ振興財団。かるたの製作は、企業に協力をお願いします。そして、市民の方には、絵札や読み札のアイデアを募集します。これがわたしたちが考えた協働です。

文化や伝統を学ぶツールとしてかるたを用いると、遊びながら楽しく文化を学ぶことができますし、キウシト湿原をはじめとする世界に誇る自然もあるので、題材は文化や伝統にとどまらず地域



の魅力が再発見でき、お年寄りや子どもが、世代間交流をするきっかけになったり、練習や大会を通じて住民交流の促進を図ることができます。

さらに財政面では、企業の協力を得ることで、経費の大幅な削減が可能です。また、新設された『ふるさと納税制度』を財源として活用することも可能だと思います。

地元への愛着を深め、次代を担う子どもの育成や世代間交流の強化を目指し、郷土かるたを提言します。これがわたしたちが考える協働のまちづくりで、このことがネクストジェネレーションの創造につながります。

最後に『N. U計画』の由来についてですが、大学の頭文字を取ってという理由もありますが、登別市のNと人間愛や思いやりを意味する『ubuntu』のUです。つまり、郷土愛を育もうということです。

## 登別市長賞

同志社大学大学院総合政策科学研究科  
今川ゼミ B

## 登別の『自治を問う』

わたしたちが考える市民自治とは、市民が主人公としての責任を自覚し、行政や議会と共に考え、解決のために行動することであり、そのためには地域の課題に関わる情報を共有することが必要です。

そこで、わたしたちは広報のあり方について調査しました。その中で、恵庭市の広報紙の特集『自治を問う』に着目しました。これは、恵庭市長汚職事件を正面から取り扱った特集で、情報を求める市民、責任に目覚める市民の姿が描かれています。ここから行政がとことん情報を伝えれば、市民は責任を自覚するということがいえます。そこで、2005年から2009年までの広報のほりべつと広報えにわの比較を行なったところ、登別は一般的な課題を取り上げているのに対し、恵庭は切実な地域課題について取り上げていること、登別は、決定済みの情報が中心であるのに対し、恵庭は案の段階から情報を開示し、市民に意見を求めていること、登別では、都合の悪い情報は積極的に掲載しないのに対し、恵庭、都合の悪い情報も明らかにしていることなどから、登別は地域の課題の掘り下げが不十分と考えます。そこで「登別の『自治を問う』」という提言をします。

地域課題を深く掘り下げた広報紙の特集を組んでみてはいかがでしょうか。まず今回のフォーラムの提言を中心に市民自治を巡る地域の課題を特集で扱い、企画の一環として市民、職員、議員、教授、学生を交えた座談会を開催します。そして、市民自治のあり方について意見を募り次の号に掲載します。最後に、協働に悪いイメージをもつ方もいらっしやると思いますが、私たちの考える市民自治こそが本来あるべき協働の姿ではないでしょうか。



## 登別市議会議長賞

日本大学法学部外山ゼミナール B

## 登別ネオ・フロンティア計画

登別市は、市民自治の推進的役割を市民自治推進委員会が行い、また、まちづくり基本条例の設置や市民フォーラム、議会フォーラムを行っています。しかし、市議会議員選挙の投票率や議会フォーラムの参加者は、年々下がっているなど、市民の参加意識は希薄であり、また、若者が議会フォーラムに参加しないことなどの現状があります。わたしたちは、議会の制度的な改革が必要と考え、直接民主政治と議会改革について提言します。

議会改革を進めるためには、まず、市を4つの区域に区切り地域自治区制度を活用します。この地域自治区制度とは、行政区域の全域を自由に区切ることができる制度であり、地域の住民の意思を反映させつつ、行政を処理させるために設置するものです。そして、ここで最も重要となるのが協議会を置き、住民総会とすることです。わたしたちが考える住民総会は、その地域に住む人が一堂に会し、地域の問題点について話し合う制度のことです。より身近に市民の声を聴けるだけでなく、16歳以上の人なら誰でも参加でき、もちろん外国人の方も参加ができます。住民総会は意見集約のみ行います。そして重要になってくるのが市議会です。市議会は各自治区を移動して住民総会で出た要望を審議や議決する『移動型議会』を行います。つまり先程の住民総会に移動型議会が加わることで、市民自治をより助長することができるのです。また、傍聴者を多くするため土日や夜間に開催します。政策を決定してから市民と協働する場合、行政主導となってしまうことが多いです。だから政策形成過程から市民と議会が協働を目指すのです。そして、これこそが真の市民自治といえます。



この移動型議会を取り入れることは、日本の超最前線、つまりネオフロンティアと言えるのです。

## 政策マネジメント研究所賞

同志社大学政策学部風間ゼミ

## B級グルメをA級(永久)に

わたしたちは、北海道旅行のパンフレットを見ましたが、登別は夕方に来て、次の日の朝には出発するといった宿泊がメインのプランばかりです。実は、登別は観光地ではなく宿泊地なのではないのか。この問題を解決するため、市民団体では地産地消を合言葉に、海鮮バーガーなどの開発と販売に取り組んでいます。見た印象は、いまいちパツとしません。理由は、地元の人があまり食に興味がないこと、ほかの人が一緒に取り組まないためPRが不足していることです。このことから、わたしたちは、市民、地域、市によるB級グルメを生かしたまちおこしを提案します。

B級グルメは、地元食品を使った安くておいしい料理のことで、それらのNO.1を決めるB1グランプリが毎年開催され、テレビに取り上げられるなど、親しみやすいものになっています。この事業を行う上で重要なのは、長期的な人材の確保で、特に若者の参加が必要です。若者がまちおこしに参加するきっかけとしてB級グルメは取り掛かりやすいと考えました。そして、若者と共にまちおこしを行う新しい世代の創造につながると考えました。

効果としては温泉目的の観光客だけでなく、目玉商品を目的に登別へ訪れてもらうお客さんが増加するほか、チェックアウト後、目玉商品を食べるまでの2・3時間を観光施設で過ごすなど、滞在時間の延長が図られます。ことによって、観光地としての機能が高まることが期待されます。わたしたちの予想では、観光客は年間40万人は増えるの見込んでいます。

これにより今後、登別が目指すべき将来像がここに生まれます。つまり継続的に行うことで、その商品が特産品となります。それはつまり登別は観光だけでなく『まち』として永久(A級)に栄えるということです。



そのほかのグループ発表

グループ名	テーマ
同志社大学大学院 総合政策科学研究科今川ゼミA	登別のための市民自治入門
立教大学コミュニティ福祉学部 3年原田ゼミC	観光コミュニティ形成を目指して ～のぼりんぐ大作戦！～
室蘭工業大学大学院 永松・亀田ゼミ	登別温泉閑散期を活性化させるための提案
小樽商科大学商学部 伊藤一ゼミナール4年	登別ラーメンサラダで地域活性化？ ～市民と協働する登別観光～
小樽商科大学商学部 伊藤一ゼミナール3年	登別の観光資源の発掘と協働
立教大学コミュニティ福祉学部 3年原田ゼミA	きっかけは“政策フォーラム”!!!
立教大学コミュニティ福祉学部 3年原田ゼミB	地域一体化を目指して
日本大学法学部 福島ゼミナール	魅力再発見？みんなでつくる登別
岩手県立大学総合政策学部 田島ゼミ	オニ楽しい！登別式屋台



木村 義恭さん  
(登別市市民自治  
推進委員会副会長)



富田真一郎さん  
(埼玉大学斎藤ゼミ)

**小島さん** 協働は民間と行政だけではなく、僕

**今川さん** B級グルメの方ですが、市民関係や  
民と行政の協働という点からお願いします。

**岡崎さん** 身近な遊びを通じ、行政が市民の意  
見を、市民が行政のことを知る機会が増え  
るのではないかと思います。

**今川さん** 市民関係も踏まえた協働として、か  
るとB級グルメがありました。まず、か  
るたについて強調したい点をお願いします。

**田中さん** やはり協働をするには、市民と行政  
が話し合う場をしっかりと設け、住民の生の  
声を聞くことが重要だと考えます。

**今川さん** 議長賞は、議会と住民総会を地域や  
地区で行うものですが、議会との協働と  
いう点で、協働したいことをお願いします。

**藤原さん** 市民と行政が共に議論し、行動する  
ためには、その議論の前提となる情報の共  
有が重要であるとわたしたちは考えていま  
す。

**富田さん** 協働の実現には、行政と市民の間の  
信頼関係が重要で、市民が協力したい気持  
ちにさせる話題を提供することが必要です。

**今川さん** 最優秀賞と市長賞、どちらも広報が  
テーマのものでした。そこで協働の観点か  
ら協働したいことなどをお話してください。



今川 晃さん  
(同志社大学政策  
学部教授)



成田 光男さん  
(登別まちづくり  
促進期成会会長)

パネルディスカッション

『市民自治ネクストジェネレーションの創造  
～協働のまちづくりを進めるためには～』



田中 泰明さん  
(日本大学外山ゼ  
ミナールB)



小島 健太さん  
(同志社大学風間  
ゼミ)

**今川さん** 行政も、議会も、市民も変わらなく  
てはいけません。みんなが変わらなくて新し  
い時代を迎えられないような気がします。  
いかにこの地域を変えていけるかというこ  
ろに、これからの新しい協働の、登別発  
の協働のスタイルが生まれるのではないか  
と思います。

**今川さん** 行政も、議会も、市民も変わらなく  
てはいけません。みんなが変わらなくて新し  
い時代を迎えられないような気がします。  
いかにこの地域を変えていけるかというこ  
ろに、これからの新しい協働の、登別発  
の協働のスタイルが生まれるのではないか  
と思います。

**成田さん** 参加された学生さんが、登別に来て  
いただけるといいますし、登別が、皆さ  
んの第二の故郷になってくれればと思います。  
また、若い世代に、せっかく何日も  
真剣に考えていただいて、いろんなご意見  
をいただいて、これで終わっちゃうというの  
がもったいないので、協働が実際に『働く』  
ということでも具現化できればと思います。

**成田さん** 参加された学生さんが、登別に来て  
いただけるといいますし、登別が、皆さ  
んの第二の故郷になってくれればと思います。  
また、若い世代に、せっかく何日も  
真剣に考えていただいて、いろんなご意見  
をいただいて、これで終わっちゃうというの  
がもったいないので、協働が実際に『働く』  
ということでも具現化できればと思います。

**成田さん** 参加された学生さんが、登別に来て  
いただけるといいますし、登別が、皆さ  
んの第二の故郷になってくれればと思います。  
また、若い世代に、せっかく何日も  
真剣に考えていただいて、いろんなご意見  
をいただいて、これで終わっちゃうというの  
がもったいないので、協働が実際に『働く』  
ということでも具現化できればと思います。

**成田さん** 参加された学生さんが、登別に来て  
いただけるといいますし、登別が、皆さ  
んの第二の故郷になってくれればと思います。  
また、若い世代に、せっかく何日も  
真剣に考えていただいて、いろんなご意見  
をいただいて、これで終わっちゃうというの  
がもったいないので、協働が実際に『働く』  
ということでも具現化できればと思います。

**成田さん** 参加された学生さんが、登別に来て  
いただけるといいますし、登別が、皆さ  
んの第二の故郷になってくれればと思います。  
また、若い世代に、せっかく何日も  
真剣に考えていただいて、いろんなご意見  
をいただいて、これで終わっちゃうというの  
がもったいないので、協働が実際に『働く』  
ということでも具現化できればと思います。



藤原 翔平さん  
(同志社大学学  
院今川ゼミB)



岡崎 綾子さん  
(日本大学外山ゼ  
ミナールA)

問い合わせ 政策推進グループ (☎85) 1 1 2 2)

# 西胆振の

# まちづくり

## 西胆振地域づくりビジョンと定住自立圏構想



まちづくりには、一つの市や町で取り組むよりも、広域的にいくつかの市や町が一緒に取り組む方が効果的な事務や事業があります。

今月号では、登別市を含む西胆振（室蘭市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）のまちづくりについてお知らせします。

### 西いぶり広域連合のイメージ



※登別市は、西いぶり広域連合において、電算処理のほか、『西胆振地域づくりビジョン』の策定、『定住自立圏構想』の検討を行っています。

### 『西いぶり広域連合』 「いぶりまほむらびと」

市役所などの地方自治体では、さまざまな住民サービスを提供していますが、近隣の市や町でも同じようなサービスの提供を行っている場合があります。

『広域連合』とは、それぞれの市や町で個別にサービスの提供を行うよりも、いくつかの自治体が協力し、広域で行うことで費用を低く抑えたり大きな効果を上げたりすることができる事業などを行うための組織です。

わたしたちの暮らす西胆振には、3市3町で組織する『西いぶり広域連合』があり、ごみ処理やリサイクル処理、電算処理などのほか、広域行政の振興や課題の調査研究、連絡調整などを行っています。

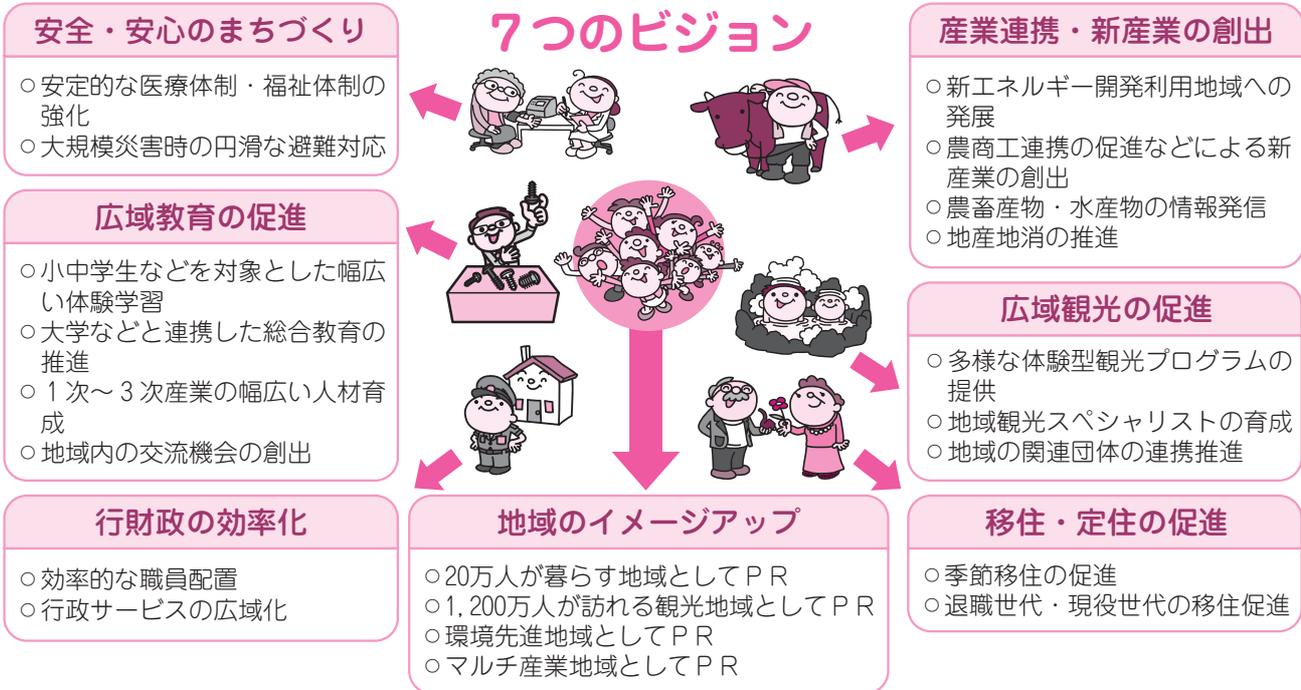
登別市は『西いぶり広域連合』に加わり、住民票や戸籍のシステム、税の賦課徴収システムなどの電算処理を行っています。

また、西胆振の将来のまちの姿について考えるため『西胆振地域づくりビジョン』を作成したほか、国が提唱する新たな連携の取り組みである『定住自立圏構想』の検討を行っています。

# 『西胆振地域づくりビジョン』に描くまちづくり

『西胆振地域づくりビジョン』は、西いぶり広域連合において『西胆振は一つ』の認識のもと、3市3町の特性を生かし、どのようなまちづくりが可能であるかなど、西胆振圏域の将来の発展につながるまちづくりのあり方を考えるために作成したものです。

ビジョンでは、地域づくりの形として、今の市や町の枠組みを残しながら広域的な連携を図る『市町連携』、『広域連合』、『定住自立圏』のほかに『合併』などの方法を示すとともに、地域の特性や強みを生かしたまちづくりの可能性を『7つのビジョン』で示しています。



『西胆振地域づくりビジョン』は、市役所1階市民ロビー、各支所、市民会館、図書館で閲覧できるほか、ホームページ (<http://www.city.noboribetsu.lg.jp/plan/k-renkei/nishi-tiikivision.htm>) からご覧になれます。

## 定住自立圏構想のイメージ



※具体的な連携内容は、6月に西いぶり広域連合に設置した『西胆振地域定住自立圏構想検討会議』で検討を進めています。

## 『定住自立圏構想』とは

『定住自立圏構想』とは、圏域の核となる人口5万人程度以上で昼夜間人口比率が1以上の『中心市』が周辺の市町村と協定を結び、それぞれの役割分担や連携を図りながら、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を確保することで地域の魅力を高め、定住自立を促し、人口の流出を防ぐことをねらいと

した国（総務省）が提唱する新たな広域連携の取り組みです。西胆振圏域では、圏域の核となる『中心市』の要件を満たしている室蘭市が、12月をめどに中心市宣言をする予定です。今後は、室蘭市と周辺市町である登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町が、医療や福祉、産業、観光などでの連携について検討し、皆さんからご意見をお聞きしながら、協定の実施を含めた協議を行います。

問い合わせ  
企画グループ (☎85) 1122



君と僕 互いの力 生かし合う 共同参画パートナー  
(男女共同参画社会づくり一歩最優秀賞)

## 男女共同参画社会を目指して

# あなたも、わたしも、 自分らしく！！

今年、男女共同参画基本法が公布・施行されてから10年という節目の年です。また、登別市も平成14年9月に登別市男女共同参画基本計画『のぼりべつはあもにいプラン21』を策定、6年を経過し現在第3次実施計画【平成21年から24年度】をスタートさせたところです。

施行されてから、男女共同参画の意識は着実に高まってきましたが、女性の参画促進や仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現、女性に対する暴力の根絶などさらなる取り組みが必要な課題も数多くあります。これからの10年間で男女共同参画社会を進めていくために何が必要か考えていくために今月号では、市の取り組みや制度改正などを紹介します。

### 男女共同参画社会とは

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思で社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が保障され、それによって利益を受け、共に責任を担う社会です。

### 市の取り組み

平成8年策定の登別市総合計画で『女性もともに参画する地域社会づくり』を掲げ平成9年から市民の参画を得ながら、男女共同参画の啓発や計画策定に向けた取り組みを進め、平成14年9月に『登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はあもにいプラン21）』を策定しました。この計画は、

- 1 男女の人権が尊重される社会の実現
  - 2 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現
  - 3 雇用などの分野における男女平等の実現
  - 4 健康的な生活を生涯にわたって送られる社会の実現
- の4つを基本目標としています。



### 登別市男女共同参画社会づくり推進会議を設置しています

平成14年9月に市民参画により策定した『登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はあもにいプラン21）』を推進するため、公募による5人と各種団体からの推薦者15人併せて20人による登別市男女共同参画社会づくり推進会議が設置されています。

### 男女共同参画フォーラム2009

(内閣府事業；平成21年度 地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣事業)

日時：11月29日（日）13時～15時30分  
 場所：市民会館中ホール  
 内容：講演、グループ討議  
 テーマ：『地域のゆたかさは 男女共同参画から』  
 ～あなたのゆたかさとは 何ですか～

講演者：平岡 祥孝さん（札幌大谷大学短期大学部教授）

参加料：300円（資料代を含みます）

問い合わせ：市民サービスグループ



男女共同参画

### ◀内閣府男女共同参画局では男女共同参画シンボルマークを決定しました。

平成21年に男女共同参画社会基本法制定10周年を迎えシンボルマークを策定しました。

男女が手を取り合っている様子をモチーフにし、互いに尊重し合い、共に歩んでいけたらという願いを込めています。

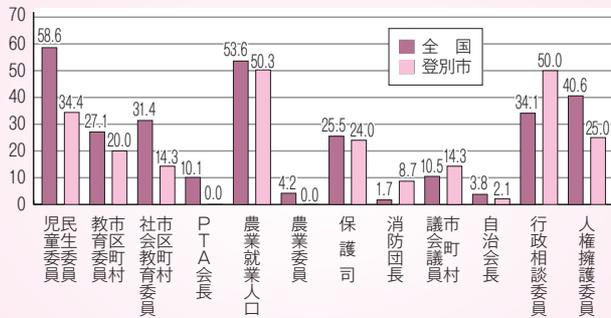
## ～デートDVとは～

夫婦やパートナーなどの親密な間柄で起こる暴力を一般的にドメスティック・バイオレンス（DV）と言います。DVは夫婦の間だけに起こると思われがちですが、実際には、高校生や大学生などの恋人同士の間でも起こっており、このような若者の間で起こるDVを『デートDV』と呼んでいます。

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



## 登別市と全国の活躍する女性の割合状況



参照：登別市は平成21年4月現在  
全国は内閣府発行『共同参画』2008年7月号

## 育児・介護休業法が改正されました

『育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律』および『雇用保険法』が6月24日に改訂され、7月1日に公布されました。主な改正の内容は次のとおりです。

### (1) 子育て期間中の働き方の見直し

① 短時間勤務制度の義務化および所定外労働の免除の制度化

② 子の看護休暇制度の拡充

### (2) 父親も子育てができる働き方の実現

① パパママ育休プラス

(父母ともに育児休業を取得する場合の休業期間の延長)

② 出産後8週間以内の父親の育児休業取得の促進

③ 労使協定による専業主婦(夫)除外規定の廃止

### (3) 仕事と介護の両方支援

・ 短期の休暇が取得できる短期の介護休暇制度の創設

### (4) 法の実効性の確保

・ 育児休業の取得等に伴う紛争に関する事業主による苦情の自主的解決←努力義務

・ 都道府県労働局長による紛争解決の援助及び調停制度の創設

・ 法違反に対する勧告に従わない場合の企業名の公表制度

・ 報告を求めた際に報告をしないまたは虚偽の報告をした場合企業に対する過料の制度など

## 男女共同参画もシंकグローバリー・アクトローカリー(※1)で

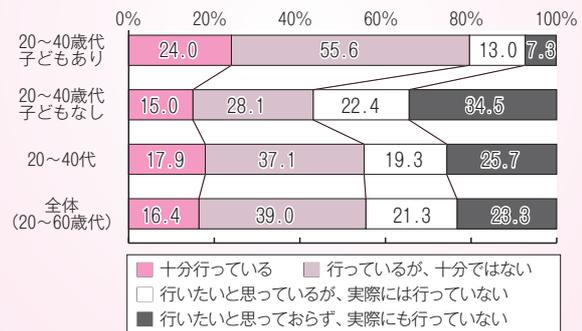
ワーク・ライフ・バランスを重視し、男性も女性も働き甲斐のある社会を目指すことが必要です。

そのためには、まず、男性の家庭参画が大切です。

あなたのご家庭はいかがですか。

(※1 世界のことを想いつつ行動は自分の足元から)

### 男性の家事参加



参照：内閣府『男女のライフスタイルに関する意識調査』(平成21年)

## ことばの紹介

### エン・パワーメント

『力をつけること』。女性が、自己決定力を身につけて、政治的、経済的、社会的に力を持った存在となること。第4回世界女性会議での主要議題。

### 社会的性別(ジェンダー)の視点

(内閣府『男女共同参画基本計画(第2次)』抜粋)

人間には生まれつきの生物学的性別(セックス/sex)がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた『男性像』、『女性像』があり、このような男性、女性の別を『社会的性別』(ジェンダー/gender)という。

『社会的性別』は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。

『社会的性別の視点』とは、『社会的性別』が性差別、性別による固定的役割分担、偏見などにつながっている場合もあり、これらが社会的に作られたものであることを意識していこうとするもの。

カエル! ジャパン



ひとつ「働き方」を変えてみよう!

## 『仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)』とは?



● 誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことです。

● 仕事と生活の調和が実現した社会とは?

- ・ 就労による経済的自立が可能な社会
- ・ 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
- ・ 多様な働き方・生き方が選択できる社会

問い合わせ  
市民サービス  
グループ

(☎85 2 1 3 9)  
Eメール:  
shiminka@city  
.noboribetsu.  
lg.jp

## ひざを突き合わせ 協働のまちづくりを考える

～平成21年度地区懇談会～

平成21年度の地区懇談会（市主催）が、10月9日（金）の鷺別地区連合町内会との懇談を皮切りにスタートしました。

この懇談会は、まちづくりについての意見や地域が抱える問題などについて、市民と市の職員が懇談を行うとともに、地域や市が取り組んでいることなどについて、情報を共有することを目的に、毎年開催しているものです。

この日は、鷺別公民館に地域の住民と市職員約50人が集まり、『宅地開発に伴う交通安全対策』など3つの懇談のテーマについて、市の考え方や対応などを説明しました。

また、地域住民の方からは、まちづくりや市政を良くしていくための貴重な意見や質問が出されるなど、協働のまちづくりに向けて、市民と市職員がひざを突き合わせ、活発な議論がなされました。

最後に、市から『広域連携のまちづくり』や『パブリックコメント制度の概要』、『新型インフルエンザ感染の現状』、『議会フォーラムからの行政要望』、『防火安全対策調査・普及事業』などについて情報提供を行いました。

この懇談会は、11月中旬まで、各地区の連合町内会を単位に、10回開催します。



▲防火安全対策調査・普及事業の説明

## 木のおもちゃってあたたかいね

～木と森のあそび場～



9月21日（月）～23日（水）のシルバーウィークの3日間、ふおれすと鉱山で『木と森のあそび場』（モモンガくらぶ主催）が開催されました。

この催しは、普段触れる機会の少ない木のおもちゃと触れ合い、木の持つ自然のぬくもりややさしさを感じてもらうことを目的に、今年で4回目の開催となります。

館内には、木馬や木のプール、積み木、木のお家など、たくさんの木のおもちゃが集まり、子どもたちはいつもとは違った木のおもちゃを使って目いっぱい遊んでいました。

また、屋外では、森の中でスタンプラリーを楽しんだり、森のカフェでマシュマロを火であぶって食べたりして、秋の訪れたふおれすと鉱山で自然を満喫していました。

## 地元食材でおいしく安全な学校給食を

～『さら貝』を使ったカレーライスを提供～

9月30日（水）、地元で採れた『さら貝』を使ったカレーライスが、市内の小・中学校に給食として出されました。

これは、地元の食材を積極的に給食に取り入れることを目的に教育委員会が試みたものです。

『さら貝』は、7～9月に地元で水揚げされる大きさ5センチメートルほどの二枚貝で、血圧やコレステロール、血糖値が高い方に効果がある『タウリン』や『グリシン』、『アラニン』といったうまみ成分が多く含まれています。

カレーライスに入れた『さら貝』は、バターと白ワインで炒め、最後にルーの中に入れることで、魚介類が苦手な子どもにも食べやすく工夫されています。

この日伺った幌別小学校では、給食を食べた子どもたちから「おいしいね」という声と笑顔が教室に広がりました。



▲さら貝のカレーライスを味わう子どもたち

## きずなを深め50年… 未来へつなぐ福祉の心

### ～社会福祉協議会創立50周年記念事業～

9月26日(土)、27日(日)の2日間、市民会館で『あなたとともに50年 キラリ輝く未来のきずな』をキャッチフレーズに『登別市社会福祉協議会創立50周年記念事業』（同実行委員会主催）が行われました。

記念事業は、オープニング「コラボレーション『みとめあう』2009“きずな”」で始まり、大人も子どもも、障がいのある方も、ない方も一緒に力を合わせて、福祉のまちづくりを成し遂げていく様子を表現した市民参加型の音楽劇『おおきなかぶ』では、約150人の参加者が力を合わせてステージに引き上げたカブに扮したくす玉が割れると50周年を祝う垂れ幕が飛び出し、会場から大きな拍手が沸き起こりました。15時からは落語家三笑亭夢之助さんによる記念講演、26日は社会福祉大会やきずなシンポジウムなどのイベントが行われ、また、館内に設けた、NPO・ボランティアなどの体験コーナーや障がい者作品展示・授産製品の販売コーナーでは、作品を鑑賞したり、気軽に体験をするなど盛り上がりを見せ、野外特設会場での足湯コーナーや各種飲食屋台などにも多くの方が詰め掛けました。



## 縄文時代にタイムスリップ

### ～登別縄文どきどきまつり～



▲火起こしに取り組む子どもたち

10月3日(土)、カント・レラで『登別縄文どきどきまつり』（市・縄文どきどきクラブ主催）が行われました。

この催しは、縄文文化の体験を通して、その世界観や自然観などを学びながら豊かな心をはぐくむことを目的に行われ、今年で2回目の開催となります。

10時から始まったイベントは、黒曜石のナイフ作りや勾玉作り、土器の野焼きや火起しなどの体験、『縄文風クッキー作り』、『縄文講演会』が行われるなど内容が盛りだくさん。参加者は早速、黒曜石を削りナイフを作ってみたり勾玉作りに挑戦したり、縄文時代を思わせる衣装を身に付けシカ的をめぐって弓矢を打つなど縄文生活を満喫していました。

また、黒曜石のナイフで切ったサケを入れた縄文鍋や土器の野焼きコーナーでは焼きいもが振舞われるなど身も心もお腹も大満足の秋の一日を過ごしていました。

## 健康づくりは食生活から

### ～家族で楽しい！食育フェスタinのぼりべつ～

10月4日(日)、市民会館で『家族で楽しい！食育フェスタinのぼりべつ』（市主催）が開催されました。

この催しは、今年度の特別予算枠に設けられた『明日のまちづくり事業』の一つで、食育をテーマに栄養や食に関心を持ってもらうことを目的として開催されました。

テレビでおなじみの料理研究家東海林明子さんを講師に迎えたクッキング講座では、シーフードデミカレーなど栄養バランスの取れた4品の実演を、調理のポイントを交えながら手際よく行い、最後に参加者全員で試食を行いました。

また、そのほか会場内では、体脂肪や血圧などを測定する健康相談コーナーや、栄養士による栄養相談コーナーなども行われ、参加者は食育の大切さについて理解を深めていました。



▲東海林明子さんを招いたクッキング講座

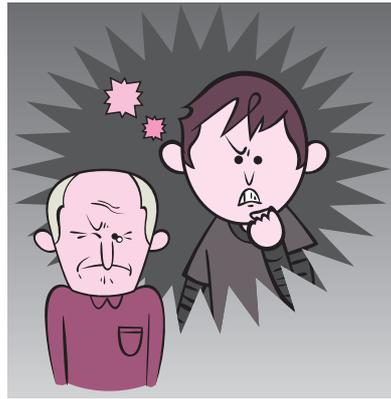


# ダメ！高齢者虐待

## 心理的虐待と身体的虐待

1年前から認知症状が見られるようになった父親と暮らすAさん。父親は徘徊したり、食事をしたことを忘れたりするなど、見守りや介護が必要な状態です。しかし、Aさんには介護を手伝ってくれる兄弟や親せきはいません。また、相談先も分かりませんでした。

父親の徘徊は日を追うごとに増え、もの忘れもひどくなり、Aさんの負担は増す一方です。次第にAさんは自分の時間が持てなくなり、「いつまでこんな生活が続くのだろうか」と強い不安を感じるようになりました。介護疲れがピークに達したある日、Aさんは父親が言うことを聞かないことに腹を立て、思わず怒鳴ってしまいました。その時は、自己嫌悪に陥ったAさんでしたが、その後も、父親が言うことを聞かないことがあると、Aさんは怒鳴ったり、時には強くたたいたりするようにになりました。その後、Aさん親子の様子がおかしいと気付いた知人が、地



域包括支援センターに相談。Aさんの介護負担を減らすために、介護保険サービス（デイサービスなど）を利用することになり、その結果、Aさんは自分の時間を持てるようになって、虐待はなくなりました。

このように、どんな家庭でも高齢者虐待は起こり得ます。『何かおかしい』『どうしたらいいんだろう』そう思ったら、気軽に相談窓口連絡してください。

- ▼高齢者虐待に関する相談窓口
- 高齢・介護グループ (☎855720)
- または地域包括支援センターあおい (☎830511)・ゆのか (☎882106)・「けいあい」(☎825005)

人が輝き まちがときめく

## 仲間たち Group

### 絵手紙サークル

『絵手紙サークル』は、『下手でいい、下手がいい』を合言葉に、平成12年6月に友人5人で結成しました。

会員は現在15人。毎月2回木曜日に婦人センターで活動しています。

「絵手紙は、はがきに筆と墨や顔彩（水墨画の絵の具）を使用し、植物や小物などを描き、言葉を添えて贈っています」と話すのは代表の藤井節子さん。

「絵手紙づくりは、人と人の和物の大切さから地球環境まで、幅広く考えさせられる貴重なひとときです。手先を使い、皆さんと会話を楽しむとともに脳が活性化させられ、痴呆防止や病後のリハビリにもなると思います。また、一番の



喜びは絵手紙を出す時と『元気をいただいたよ』とか、『わたしも書いてみたい』といった返事をもらった時です。筆無精の方でも文章が短いので始めやすいと思いますよ」と、藤井さんは絵手紙づくりのすばらしさについて話してくれました。

4月に入会した嶋田京さんは、「3月に仕事を辞めたのを機会に、サークルなどで趣味を楽しみたい」と思い入会しました。最初は、経験が無かったので不安でしたが、皆さん親切丁寧に教えてくれるので短期間で慣れました。絵手紙の話だけでなく日常の話題も多く雰囲気が大変良いので、毎回の活動日に来るのが楽しみです」とこやかに話してくれました。

入会を希望される方は、藤井さん(☎833124)までどうぞ。



### 常に楽しい絵手紙づくりを心掛けて皆で楽しんでいます

# 情報あらかると

- ▼日時 11月26日(木)・27日(金)：20時  
まで、28日(土)：9時～17時
- ▼場所 ①市税・給食費・公営住宅

## 夜間、休日納税相談・納入窓口を開設します

- ▼月日 11月25日(水)
- ▼場所 市役所
- ※公売する不動産の詳しい情報などは、税務グループにお問い合わせいただくか、市ホームページ (<http://www.city.noboribetsu.lg.jp>) をご覧ください。
- ▼問い合わせ 税務G (☎851155)

## 不動産を公売します

- ▼日時 11月25日(水) 10時～12時
- ▼場所 婦人センター
- ▼対象 市内居住の65歳以上の方で、軽い運動ができる方

## 基礎年金の国庫負担割合が引き上げられました

- 料・保育料など：税務グループ (市役所1階3番窓口)、②国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料：国保・医療給付グループ (市役所1階4番窓口)
- ▼問い合わせ 税務G (☎851155)、国保・医療給付G (☎851771)

## ◎国庫負担率の引き上げと免除制度

国民年金には、経済的な理由などで保険料を納めることが困難な場合には、保険料の免除制度があります。今回の国庫負担割合の引き上げにより、平成21年4月以降の保険料免除期間について、老齢基礎年金を計算する場合の負担率が変わるため、免除期間の年金額が増額されます。

## ▼問い合わせ 年金・長寿医療G (☎852137)

## 一日からやか教室に参加しませんか

- ▼日時 11月25日(水) 10時～12時
- ▼場所 婦人センター
- ▼対象 市内居住の65歳以上の方で、軽い運動ができる方

- ▼内容 転倒予防や脳活性化などに効果的な『からやか体操』、栄養についてのお話、レクリエーション
- ▼定員 30人 (申込順)
- ▼参加料 無料
- ▼持ち物 動きやすい服装と靴、タオル、飲み物(水分補給のため)、からやか手帳(お持ちの方のみ)
- ▼申し込み 11月4日(水)から電話で 高齢・介護G (☎855720)



※今回は平成22年1月の予定です。

# 情報あらかると

11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
29	30												

## くろーずあっぷ

- 16 住宅用火災警報器つけてますか？10月から調査員が玄関先で聞き取り調査を行っています
- 16 返還墓地の再貸し付けを行います
- 17 認知証サポーター養成講座を開設します
- 17 物品購入や小規模修繕などの競争入札等参加資格審査申請を受け付けています
- 18 市の政策などの策定過程で皆さんからの意見をお聞きするルールをつくりまします
- 19 平成21年度9月末の財政状況をお知らせします
- 20 したた21からのお知らせ
- 21 子育て支援センターからのお知らせ
- 22 社会教育グループからのお知らせ
- 23 郷土資料館からのお知らせ
- 23 文化・スポーツ振興財団からのお知らせ
- 28 アフリカの難民の方へ衣料を送ります
- 29 ふおれすと鉱山の今月のイベント
- 29 市民プール『らくあ』からのお知らせ
- 31 地域だより (登別市連合町内会)

## 毎月のお知らせ

- 20 12月の健康相談・診査
- 21 12月の粗大ごみ収集
- 25 無料法律相談・くらしの無料相談 そのほかの相談
- 27 11月の歯科救急医療
- 27 11月中旬～12月上旬の図書館行事
- 30 今月の新着図書
- 30 不用品ダイヤル市

## 忘れずに納めましょう

～納期限は11月30日(月)です～

市民税・道民税(第3期)、国民健康保険税(第6期)、介護保険料(普通徴収第5期)、後期高齢者医療保険料(普通徴収第5期)の納期限は11月30日(月)です。納入には、便利な口座振替制度もあります。

- ▶問い合わせ 税務G (☎851155)、国保・医療給付G (☎851771)、高齢・介護G (☎855720)、年金・長寿医療G (☎852137)

**地域密着型サービス事業者の公募説明会を開催します**

市では、第4期介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービスの整備を進め、介護サービスの質を確保する観点から、事業者を公募により選定するため、応募予定法人を対象とした公募説明会を開催します。

▼公募する介護サービス事業

①地域密着型特定施設入居者生活介護（定員29人以下）

②認知症対応型共同生活介護（定員18人以下）

▼整備年度 平成22年度

▼応募期間 11月24日(火)～30日(月)

※公募要領、提出書類などについては市ホームページをご覧ください。

◎公募説明会

▼日時 11月10日(火) 14時～

▼場所 市役所第2委員会室

▼問い合わせ 高齢・介護G

(☎855720)

**障がいのある方の就労相談窓口を開設します**

市では、胆振日高障がい者就業・生活支援センター『すてーじ』の協力を受け、障がいのある方の就労相談窓口を開設します。就労を希望している方や現在就職されている職場での悩みなどについて、気軽ににご相談

談ください。また、雇用などに関する事業主の相談も受け付けます。

▼日時 11月～平成22年3月の毎月第3木曜日 14時～19時

▼場所 障害福祉グループ（市役所1階7番窓口）

▼対象 市内居住の障がいのある方で、就労に関する相談を希望される方、または障がいのある方の雇用について相談を希望される市内の事業主

▼相談料 無料

▼申込方法 相談日の1週間前までに障害福祉グループにお申し込みください

※当日の相談も受け付けますが、予約された方が優先されます。

▼問い合わせ 障害福祉G

(☎853732)

**小児救急講習会の受講者を募集します**

▼日時 11月21日(土) 9時30分～11時30分

▼場所 消防署会議室（市役所第2庁舎）

▼内容 赤ちゃんから8歳位までの心肺そ生法や異物除去の方法など

▼定員 10人（申込順）

▼申込方法 11月10日(火)までに消防署・各支署にお申し込みください

▼問い合わせ 消防署警防救急G

(☎852551)

**返還墓地の再貸し付けを行います**

貸付墓地	造成年度	貸付区画数	1区画当たり			
			面積	使用料	管理清掃手数料	合計
亀田霊園	S61	1区画	5.0平方メートル	200,000円	25,000円	225,000円
	S62	2区画				
富浦墓地	S50	1区画	6.0平方メートル	156,000円	30,000円	186,000円
	S54	5区画		168,000円		198,000円
中登別墓地	S45	1区画	12.0平方メートル	300,000円	60,000円	360,000円

▶対象 市内に住民登録があり、登別市の墓地使用权をお持ちでない方

▶貸し付け条件 3年以内に墓碑を建立される方  
※墓地の貸し付けを受け3年を経過しても墓碑を建立されなかった場合は、墓地使用許可が取り消しとなることがあります。この場合、納入された使用料および手数料は返還しません。

▶申込期間 11月9日(月)～18日(水)（土・日曜日を除く）

▶申込方法 市民サービスグループ（市役所1階2番窓口）に備え付けの申込書に必要事項を記入し、提出してください（印鑑、住民票抄本が必要です）

※申し込みは1世帯につき1区画とし、申し込みが複数となった場合は、後日抽選を行います。

※第二富浦墓地は随時受け付けています。

申し込み 市民サービスグループ (☎852139)  
問い合わせ

**住宅用火災警報器つけてますか？  
10月から調査員が玄関先で聞き取り調査を行っています**

平成23年6月から、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられます。

消防本部では、調査員を派遣し、市内全世帯を対象に玄関先で聞き取り調査を行っています。10月は、登別温泉地区、登別地区、富浦地区、美園地区を対象に聞き取り調査を行いました。

11月は、中央地区、新生地区、若草地区を調査予定です。

▶期間 平成22年2月28日(日)まで

▶調査員の服装 青の帽子、青のウインドブレーカー



※調査員は身分証を携帯し、訪問の際に掲示しますのでご協力をお願いします。

▶問い合わせ 消防本部総務グループ (☎859611)

『申し込み』  
『問い合わせ』  
中の『G』は『グループ』の略です

## 平成22年度 登別市職員 『キャリア採用試験』を実施します

市は、民間企業などを経験された即戦力となる方を募集します。

今年度は、1級建築士の資格を有する方を募集し、採用後は建築主事の任用資格を取得していただき、建築確認事務を主に担当していただきます。

### ▶採用職種・採用予定人数

職 種	採用予定人数
建 築	1人程度

### ▶受験資格

職 種	試験区分	要 件
建 築	キャリア	①昭和36年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた方 ②平成21年11月20日現在で、正社員として民間企業や官公庁などに通算10年以上勤務された方 ③1級建築士の資格をお持ちの方

### ▶試験科目など

区 分	試験科目	結果の通知
第1次試験	申込書、小論文の書類選考	募集終了後、約2週間程度で文書で通知します
第2次試験	面接、建築分野基礎力テスト、性格適性検査、健康診断書審査	試験終了後、約2週間程度で文書で通知します

### ▶申込方法

人事・行政管理グループ（市役所3階）と各支所に備え付け、または市ホームページよりダウンロードした受験申込書に必要事項を記入の上、小論文など必要書類をそろえ、人事・行政管理グループへ提出してください。

受付期限	11月20日(金)（土・日曜日、祝日を除く） 受付時間 9:00～17:30
提出方法	持参または郵送（11月20日(金)の消印有効）
その他	●試験実施要綱を郵送で請求する場合は120円分の切手を張った返信用封筒（角形2号）を必ず同封してください。

※市では『障害者の雇用の促進等に関する法律』の趣旨を踏まえ、障がい者の雇用の促進に努めています。なお、受験できる方は、介助者なしで職務の遂行が可能な方とします。

※詳しい受験資格については、試験実施要綱などで確認してください。

申し込み・問い合わせ  
人事・行政管理グループ（☎059-1132）  
〒059-8701 中央町6丁目11

月日	場所	申し込み先
11月17日(火)	老人福祉センター	地域包括支援センターゆのか（☎059-2106）
11月18日(水)	婦人センター	地域包括支援センターあおい（☎059-0511）
11月19日(木)	若草つどいセンター	地域包括支援センター「[な]あい」（☎059-5005）

▼月日・場所・申し込み先  
 認知症サポーター養成講座を開催します  
 認知症を学び地域で支えましょう



▼時間 13時30分～15時（受け付け13時～）  
 ▼内容 認知症の診断と治療、認知症の方への接し方、地域で支える制度や仕組みについて  
 ※受け付けの後に血圧測定を行います。  
 ▼定員 各30人（申込順）  
 ▼受講料 無料  
 ▼持ち物 筆記用具  
 ▼申し込み 11月16日(月)までに各申し込み先にお申し込みください

## 物品購入や小規模修繕などの競争入札等参加資格審査申請を受け付けています

市は、平成21・22年度の物品購入や小規模修繕（建物、設備など）の受注を希望する事業者の資格審査申請を随時受け付けています（すでに資格登録されている方は申請不要です）。

なお、小規模修繕については、建設業の許可を受けていないなどの理由により、建設工事の競争入札参加資格審査申請をすることができない事業者であっても申請が可能です。

▶期間 随時（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）  
 ▶時間 9時30分～12時、13時～16時  
 ▶場所 契約グループ（市役所3階）  
 ※郵送可（返信用封筒に切手を張り同封すること）。

登録申請受付業種	物品の購入・売り払い、修繕（30万円未満の小規模修繕を含む）、印刷、製造、委託（測量、設計などを除く）、リースなど
提出書類	●競争入札等参加資格審査申請書 ※契約グループに備え付けの市指定様式 ※上記申請様式は、市ホームページ（各グループのページ→契約グループのページ）からダウンロードできます。 ●登別市税（すべて）の納税証明書など

申し込み・問い合わせ  
契約グループ（☎059-1184）  
〒059-8701 中央町6丁目11

# 市の政策などの策定過程で皆さんからの 意見をお聞きするルールをつくります

～パブリックコメント制度についてご意見をお寄せください～

## 『パブリックコメント制度』とは

パブリックコメント制度は、市の基本的な構想・計画や市民生活に大きく影響する条例の策定・改廃の案を決定前に公表し、市民の皆さんから寄せられた意見を考慮しながら最終案を決定する制度です。

## どうしてルール化するの？

市は、これまで各種審議会や市民自治推進委員会、地区懇談会などの場で市民の皆さんから意見をお聞きしてきたほか、広報のぼりべつやホームページなどで計画などの案を公表し、市民の皆さんの意見を市政に反映できるよう努めてきました。

市がこれまで行ってきた手法は、パブリックコメントに該当するものであると考えますが、市政の推進に当たりこれまで以上の市民参画によるまちづくりを推し進めるためには、市民生活に関わる構想や計画、条例などについて、より積極的に情報発信し、透明で公正な政策決定に取り組む必要があると考えます。

そのため、これまで行ってきた意見の募集方法を見直し、要綱として定めて明文化します。

## 皆さんからのご意見をお聞きするための ルールについて、ご意見をお寄せください

- ▶ご意見をお聞きする制度 登別市パブリックコメント実施要綱(案)
- ▶ご意見の募集期間 11月1日(日)～30日(月)
- ▶資料の閲覧 本案の全文および資料は、市役所1階市民ロビー、各支所、市民会館、図書館、政策推進グループのほか、市のホームページ (<http://www.city.noboribetsu.lg.jp/plan/index.htm>) で閲覧できます。
- ◎閲覧できる資料
  - 登別市パブリックコメント実施要綱(案)
  - 登別市パブリックコメント実施要綱(案)解説版
  - 登別市パブリックコメント実施要綱(案)について(地方自治法および行政手続法(抜粋)含む)
  - パブリックコメント制度の概要
  - 登別市まちづくり基本条例 解説

ご意見の例

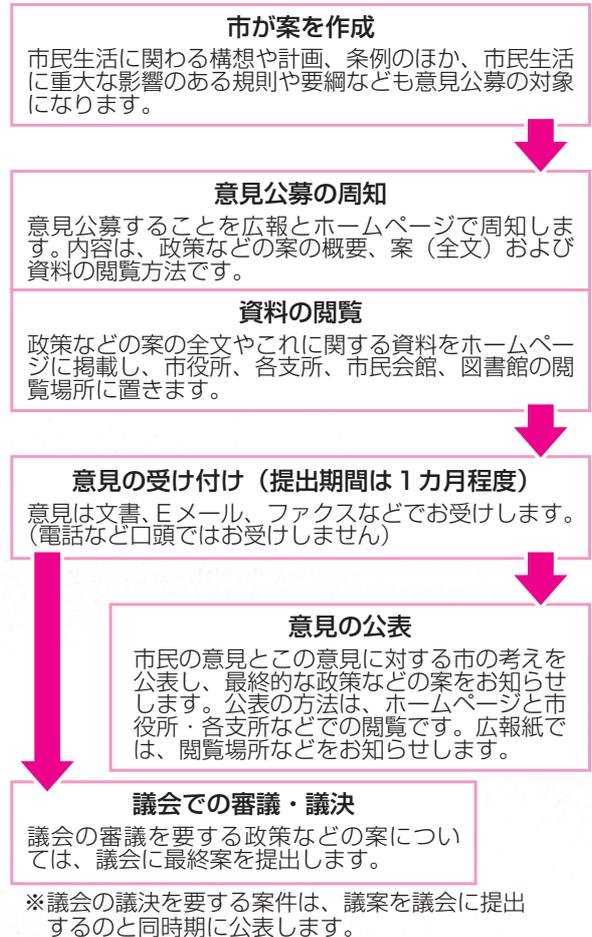
- 例1：『パブリックコメント』というカタカナ名ではなく、分かりやすい表現にすべき。
- 例2：計画案や条例案の内容が、量的に膨大であれば、理解しやすいように概要の説明を分かりやすくすべき。  
など、実施要綱をご覧になって修正・加筆の必要な箇所や内容などについてご意見をお寄せください。

▶**提出方法** 市役所1階市民ロビー、各支所、市民会館、図書館、政策推進グループに備え付けの専用紙を使用いただくか、任意の用紙に①案件名②住所③氏名④電話番号⑤ご意見を記入し、政策推進グループへ郵送またはファクス、Eメールでお寄せください。また、市役所1階市民ロビー、各支所、市民会館、図書館のご意見投函箱に投函することもできます。

※電話や来庁による口頭でのご意見はお受けできませんので、ご理解ください。

▶**ご意見に対する回答** 寄せられたご意見に対する市の考え方をホームページに掲載(氏名、住所、電話番号は公表しません)するとともに、市役所1階市民ロビー、各支所、市民会館、図書館、政策推進グループに閲覧用のファイルを備え置きます。なお、意見を提出された方に個別の回答は行いませんので、ご了承ください。

## パブリックコメント制度の流れ(案)



問 い 政策推進グループ (〒059-8701 中央町6丁目11・☎05 1 1 2 2、  
合 わ せ FAX 05 1 1 0 8、Eメール: [kikaku@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:kikaku@city.noboribetsu.lg.jp))

# 財政公表

## 平成21年9月末の 財政状況をお知らせします

平成21年度各会計予算は、平成21年第1回登別市議会定例会で各会計の当初予算が議決され、その後、9月30日までに一般会計は6回の補正を行い、特別会計では国民健康保険特別会計、簡易水道事業特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計がそれぞれ1回の補正を行っています。

平成21年度予算の9月末日現在における収入や支出の概況、市民の市税負担の状況、市債の状況などは次のとおりです。



### 平成21年度各会計予算執行状況

会計名	当初予算額	補正額	予算現額 (9月30日現在)	歳入		歳出		
				収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)	
一般会計	189億6,898万円	6億 183万円	195億7,081万円	98億4,830万円	50.3%	77億5,180万円	39.6%	
特別会計	国民健康保険	63億1,180万円	3,981万円	63億5,161万円	28億8,489万円	45.4%	26億4,053万円	41.6%
	学校給食事業	3億5,890万円	—	3億5,890万円	8,926万円	24.9%	1億4,293万円	39.8%
	公共下水道事業	35億7,230万円	—	35億7,230万円	2億6,935万円	7.5%	11億 924万円	31.1%
	老人保健	3,110万円	2,359万円	5,469万円	2,836万円	51.9%	5万円	0.1%
	簡易水道事業	2,970万円	2,200万円	5,170万円	584万円	11.3%	969万円	18.7%
	介護保険	30億2,000万円	2,238万円	30億4,238万円	11億5,400万円	37.9%	11億3,287万円	37.2%
	カルルス温泉スキー場事業	1億2,720万円	—	1億2,720万円	—	0.0%	1,128万円	8.9%
後期高齢者医療	5億9,500万円	—	5億9,500万円	2億 857万円	35.1%	2億1,549万円	36.2%	
合計	330億1,498万円	7億 960万円	337億2,458万円	144億8,858万円	43.0%	130億1,387万円	38.6%	

※項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、合計欄と一致しない個所があります。

※一般会計の当初予算額、予算現額、収入・支出済額には平成20年度からの繰越明許費分を含んでいます。

### 市民一人当たりの状況

人口(9月30日現在)	市民一人当たりの市税	市民一人当たり に使われる市のお金
5万2,664人	10万1,868円	37万1,616円

※市税収入と一般会計歳出総額の予算額(9月30日現在)を、市の人口で除して算出しています。

### 市債残高の状況

会計区分	残高	
一般会計	251億4,317万円	
特別会計	学校給食事業	943万円
	公共下水道事業	195億2,364万円
	簡易水道事業	6,462万円
合計	447億4,086万円	

### 一時借入金の状況

9月30日現在において、一時借入金は借り入れていません。

問い合わせ

財政グループ  
(☎85) 1 3 3 1)

# しんた21からのお知らせ

申し込み・問い合わせ  
健康推進グループ(しんた21内・☎0100)

## もぐもぐ食育ひろばに参加しませんか

- ▶日時 11月10日(火) 10時～12時
- ▶場所 しんた21調理室
- ▶対象 生後4～6カ月児を持つ保護者(託児を行います)
- ▶内容 離乳食(5～7カ月)の調理実習と交流タイム
- ▶定員 15人(申込順)
- ▶参加料 500円
- ▶持ち物 エプロン、三角きん(スカーフ)
- ▶申し込み 11月6日(金)までに電話で健康推進グループ



## むし歯予防教室に参加しませんか?

- ▶日時 11月18日(水) 10時～12時
- ▶場所 しんた21
- ▶対象 1歳～1歳6カ月のお子さんとその保護者
- ▶内容 歯のお話、歯科検診、ブラッシング指導、フッ素塗布(講師…江端憲一さん・えばた歯科医院)
- ▶定員 20人(申込順)
- ▶持ち物 お子さんの歯ブラシ、母子手帳
- ▶申し込み 11月2日(月)～13日(金)に電話で健康推進グループ

## 市民健康教室に参加しませんか

- ▶日時 11月18日(水) 13時30分～15時
  - ▶場所 市民会館大ホール
  - ▶テーマ こころの健康
  - ▶講師 菅原康文さん(三愛病院)
  - ▶参加料 無料
- ※送迎バスの乗車希望の方は、事前に申し込みください。

## 健康相談 診査

診査・相談名	月 日	対 象	内 容	持 ち 物
4カ月児健康診査	12月17日(木)	7月16日～8月15日生まれのお子さん	診察、身体計測、栄養相談・育児相談	母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ
8カ月児健康相談	12月16日(水)	4月生まれのお子さん	身体計測、栄養相談・育児相談、遊びの紹介	母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ
1歳6カ月児健康診査	12月9日(水)	平成20年5月生まれのお子さん	診察、歯科検診、身体計測、栄養相談・歯科相談・育児相談、フッ素塗布(希望者800円)	母子健康手帳、お子さんの歯ブラシ
3歳児健康診査	12月10日(木)	平成18年11月生まれのお子さん	診察、歯科検診、尿検査、身体計測、栄養・歯科相談・育児相談	母子健康手帳、お子さんの歯ブラシ
乳幼児健康相談	12月16日(水)	育児相談を希望する方	発育・発達・育児などの相談、栄養相談	-

※4カ月児健康診査、8カ月児健康相談、1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査の時間は、対象となる家庭に通知します。なお、乳幼児健康相談は、事前にお電話で申し込みください。

**平成22年度 園児募集**

登別地区の公認私立幼稚園は、平成22年度の園児募集を下記の通り行います。

**入園願書の受付を行っています**

※詳細は各園までお問い合わせ下さい。

**登別市私立幼稚園協会**

学校法人 北海道カトリック学園 登別カトリック聖心幼稚園 登別市中央町7丁目15 T85-2414	学校法人 登別立正学園 白菊幼稚園 登別市桜木町2丁目5番地3 T85-2545
学校法人 北斗文化学園 リリー文化幼稚園 登別市鶯別町2丁目17 T87-2211	学校法人 登別立正学園 コロポックルの森 白雪幼稚園 登別市登別本町2丁目25番地8 T83-1162

**『ベビー水泳教室 特別体験教室』**

11/4・11・18・25(いずれも水曜日) 10:30～11:30  
11/7・14・21・28(いずれも土曜日) 12:30～13:30

料 金/受講料(4回) 4,205円 対 象/6ヶ月～3歳まで

**『ヨガ受講者大募集』**

木曜日 11:00～12:00 18:30～19:30 料金/1ヶ月 3,360円

日本水泳連盟優秀校

**JSS登別スイミングスクール**

登別市若草町1丁目4番地6 TEL(0143)86-6800

## クリンクルセンターからのお知らせ 再生展示品を販売します

- ▶**対象** 市内居住の20歳以上で、当日会場に来ることができ、抽選日から1週間以内に搬出できる方  
※転売目的の方は申し込みできません。
- ▶**抽選日** 11月29日(日) 10時～
- ▶**場所** クリンクルセンター市民ギャラリー
- ▶**展示品** タンス、食器棚、ソファ、自転車など
- ▶**販売価格** 500円～(自転車は無料)
- ▶**申込方法** 11月16日(月)～27日(金)の9時～17時にクリンクルセンターに備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、申し込みください(1人1点)

## 『指定ごみ袋』と『し尿処理無料券』を交付します

次の世帯に指定ごみ袋(燃やせるごみ30ℓ用を20枚)と、し尿処理無料券(くみ取り世帯に1枚)を交付します。

- ▶**対象**
  - 重度心身障がい者在宅世帯(身体障害者手帳1・2級)、知的障がい者(IQ50以下)在宅世帯
  - 65歳以上の寝たきり老人在宅世帯(常時寝たきりの状態が6カ月以上)
- ※生活保護世帯を除きます。

- ▶**申請方法**  
身体障害者手帳、療育手帳のいずれかと印鑑(朱肉を使うもの)を持参し、市民サービスグループ(市役所1階2番窓口)、各支所、クリンクルセンターで申請してください  
※昨年度までに申請された方は、申請の必要はありませんが、死亡または上記資格を喪失した方は対象外となります。

## 12月の粗大ごみ収集

- ▶**申し込み** (有)登和清掃(☎880200)
- ※申込期間(土・日曜日、祝日を除く)の9時～17時に電話でお申し込みください。
- ※電話番号のおかけ間違いのないように、十分注意してください。

地区名	収集期間	申込期間
鷺別町1～3丁目	12月7日(月)～12月12日(土)	11月24日(火)～12月4日(金)
新生町1・2丁目	12月14日(月)～12月19日(土)	11月30日(月)～12月11日(金)

- ※粗大ごみの収集は、電話で受け付けしています。
- ※粗大ごみは、1品ごとにごみ処理券(1枚160円)を張って出してください(1回につき5品まで)。
- ※粗大ごみの収集日は、『家庭ごみ収集カレンダー』にも掲載しています。また、今後の『広報のぼりべつ』でもお知らせします。

問い合わせ  
環境対策グループ  
(クリンクルセンター内☎852958)

## 子育て支援センターからのお知らせ

### 移動子育て支援センターを開設します

月日	時間	場所	対象
11月11日(水)	10時～12時	鷺別公民館	市内居住の就学前の子どもとその保護者
11月18日(水)		若草放課後児童クラブ	

- ※両会場とも駐車場があります。
- ▶**持ち物** 上靴(子ども、保護者とも)
- ※直接会場にお越しください。
- ▶**問い合わせ** 中央子育て支援センター  
(☎83715)

### お父さんと遊ぼう

- ▶**日時** 11月28日(土) 10時～12時
- ▶**場所** 登別子育て支援センター
- ▶**対象** 市内居住の就学前の子どもとお父さん
- ▶**内容** 絵本や遊具を使った自由遊びなど
- ※直接会場にお越しください。
- ▶**問い合わせ** 登別子育て支援センター  
(☎82772)

### 保育所に遊びに来ませんか

月日	時間	場所	対象
12月3日(木)	9時30分～11時	鷺別・富士・栄町保育所	市内居住の就学前の子どもとその保護者
12月10日(木)		幌別東保育所	
12月16日(木)		登別保育所	

- ▶**持ち物** 上靴(子ども、保護者とも)、天候によっては戸外で遊ぶこともありますので、着替えや防寒着をお持ちください。
- ※直接会場にお越しください。
- ▶**問い合わせ** 中央子育て支援センター  
(☎83715)

## 『赤い羽根共同募金』にご協力ください



赤い羽根  
共同募金

- 赤い羽根共同募金は、お年寄りや体にハンディキャップを持つ方々の移動のための車いす用リフト付き車両の購入や、障がいのある子どもたちの早期治療、市民ボランティア活動の支援など、社会福祉事業に活用されています。
- ▶**期間** 12月31日(木)まで
  - ▶**問い合わせ** 登別市共同募金会(登別市社会福祉協議会内☎80860)

## 社会教育グループからのお知らせ

申し込み・問い合わせ  
(☎ 88 1 1 2 9)

### わが家の味自慢 第33回つけものフェスティバル コンクール審査員募集

- ▶日時 1月14日(木) 10時45分～14時
- ▶場所 市民会館中ホール
- ▶内容 つけものを試食、審査(つけものが好きな市民の方で、年齢、性別は問いません)
- ▶申し込み つけものフェスティバル実行委員会(社会教育グループ内)

### つけものフェスティバル入賞作品レシピ紹介

#### ◎大根のビール漬け

《材料》

- 大根 5キログラム
- 調味料(ザラメ1キログラム、塩200グラム、洋がらし35グラム、酢200cc、ビール300cc)

《作り方》

1. 大根の皮をむき、食べやすい大きさに切る。
2. 調味料をすべて混ぜ合わせる。
3. 切った大根と調味料を漬け込み、重石をする。
4. 1週間ぐらいから食べごろになります。

《ポイント》

漬かってくると水が上がってきますが、そのままにしておきましょう。



### カント・レラの今年度の開館は 今月で終了します

11月29日(日)で、カント・レラの今年度の開館が終了します。

次年度の開館は、来年4月1日(木)からの予定です。

▶休館中の問い合わせ 社会教育グループ



### 市民会館サークル展・家庭教育学級 作品展にお越しください

- 市民会館サークル展
  - ▶日時 11月9日(月)13時～12日(木)13時
  - ▶場所 市民会館1階エントランスホール、大会議室、廊下
  - ▶内容 市民会館で活動中のサークルの作品展示
- 家庭教育学級作品展
  - ▶日時 11月16日(月)13時～19日(木)13時
  - ▶場所 市民会館1階廊下
  - ▶内容 市内の幼稚園や小学校で活動している家庭教育学級の作品展示

### 模範となる青少年をご推薦ください

登別市青少年問題協議会は、平成21年度登別市青少年表彰を行います。登別市を築く担い手として、豊かな心と実践力を持つ青少年を推薦してください。

#### ▶表彰の種類・対象

- 青少年善行表彰 市内居住の28歳未満で、その活動が模範となる方
- 青少年団体活動者表彰
  - ①個人…市内居住の28歳未満で、市内に組織された活発な活動を続ける青少年団体に3年以上所属し、その活動が模範となる方
  - ②団体…市内に組織された青少年団体で、5年以上の活動を続け、その目的が健全な文化・教養・体育・奉仕活動で、その活動が模範となる団体
- 優良勤労青少年表彰 市内居住の28歳未満の方で、勤労年数が3年以上あり、日常生活に誠実・精励で、職務技能の向上・研さんに努めるなど、その活動が模範となる方
- ▶推薦者 市内居住の方、職場の長、団体の代表者など
- ▶推薦・選考方法 社会教育グループに備え付けの推薦書により、11月30日(月)までに提出してください。後日、登別市青少年問題協議会が表彰者を選考し決定します

四季折々・海鮮満載・美味万来

## らんぼっけ イベント情報

地場産品 登別タラコ・開きホッケ・鮭トバソフト  
ほか、旬の鮮魚。 ★毎週土・日はマグロの日★  
バック詰め大特価販売中!(数量限定)

12月1日からギフト(お歳暮)品を安価販売

- 地場産品・登別タラコ(化粧箱入り) ●紅鮭 ●イクラ ●数の子
- 開きホッケ ●イカー一夜干し ●その他海産品

地方発送承ります。

有限会社 武澤水産  
本社/登別市富浦町1丁目24の7 TEL.83-3466

時代が変わっても、  
あたたかさかわらない。

# 第一滝本館

ご予約・お問合せは  
☎(0143)84-2111 http://www.takimotokan.co.jp  
登別市登別温泉町5番地 info@takimotokan.co.jp

## 文化・スポーツ振興財団からのお知らせ

### 市民作品展を開催します

- ▶日時 11月16日(月) 13時～19日(木)13時
- ▶場所 市民会館
- ▶内容 絵画、写真、工芸品、手芸など
- ▶出展申し込み 11月10日(火)までに電話で文化・スポーツ振興財団



### 初心者卓球教室に参加しませんか

- ▶日時 11月18日(水)～12月10日(木)の毎週水・木曜日 (全8回) 10時～12時
- ▶場所 総合体育館
- ▶対象 市内居住または通勤する方
- ▶定員 20人 (申込順)
- ▶参加料 2,500円 (スポーツ安全保険料含む)
- ▶持ち物 運動のできる服装、室内用運動靴、ラケット (ラケットは貸し出しも行います)
- ▶申し込み 11月4日(水)から13日(金)までに電話で文化・スポーツ振興財団



### 市民ミニバレー大会を開催します

- ▶日時 11月29日(日) 9時～
- ▶場所 総合体育館
- ▶種目 一般の部 (男子の部・女子の部)、競技者の部 (男子の部・女子の部)
- ▶チーム編成 1チーム5人
- ▶参加料 1チーム3,000円
- ▶申込方法 11月17日(火)までに総合体育館に備え付けの申込用紙に必要事項記入の上、参加料を添えてチーム単位で提出してください



#### 申し込み・問い合わせ

文化・スポーツ振興財団 (☎011-1116)  
総合体育館 (☎05-5552)

## 郷土資料館からのお知らせ

### ◎包丁とぎ体験に参加しませんか

- ▶日時 11月28日(土) 10時～12時
- ▶対象 小学5年生以上
- ▶定員 30人 (申込順)
- ▶参加料 無料
- ※高校生以上は入館料190円が掛かります。
- ▶持ち物 自宅で使用している包丁2・3丁
- ※包丁はケースに入れるか、布に包むなどして持参してください
- ▶申し込み 電話 (10時～16時) で郷土資料館

### ◎年越し手打ちそば教室を開催します

- ▶日時 12月5日(土)、6日(日) 9時30分～13時
- ▶対象 18歳以上の方
- ▶定員 各20組 (1組1～2人・申込順)
- ▶参加料 1組850円
- ※別途入館料 (190円) が掛かります。
- ▶持ち物 胸からかけるエプロン、髪を覆うもの、布きん2枚、上履き、そば持ち帰り用容器
- ▶申し込み 11月13日(金)から26日(木)までに電話 (10時～16時) で郷土資料館

### ◎しめ縄づくりを体験しませんか

- ▶日時 12月12日(土) 10時～12時
- ▶対象 小学生以上 (小学4年生以下は保護者同伴)
- ▶内容 スゲを使った本格的なしめ飾り
- ▶定員 30人 (申込順)
- ▶参加料 1セット100円 (1家族2セットまで)
- ※高校生以上は別途入館料190円が掛かります。
- ▶申し込み 11月17日(火)から電話 (10時～16時) で郷土資料館



#### 申し込み・問い合わせ

郷土資料館 (☎011-3339)

純国産 オリジナル **サイズアップ学生服**  
2サイズ大きくできます!

税込29,800円 (A体標準サイズ、現金&日専連カードのみ)

3ウェイバック5,145円他プレゼント有!

15年前の価格で!全市内の男女制服取扱い中!

サービス・アフターフォローも万全!

学生服の専門店 **ピッコロ** 〒059-0026 登別市若山町4丁目42番地4  
TEL:(0143)87-3551

### FOMA らくらくホンベーシックⅡ

カメラ搭載のらくらくホン。カメラを向けるだけで自動でピントを合わせてくれる「おまかせフォーカス」。  
mova F672iの後継機種なので、操作もほぼ同じで、文字も更に見やすくなりました。

新規・取替は  
是非当店へ!!

毎月の料金が高いとお悩みの方  
プラン診断を随時行っています。  
お気軽にご来店下さい。

docomo

ドコモショップ登別新生店 ☎82-2600  
登別市新生町1丁目18番地1 Jビル1階 10:00～19:00

室蘭税務署からのお知らせ

◇税に関する作品展

▼日時 11月11日(木)～17日(火) 9時～17時30分

▼場所 市役所1階

▼内容 小学6年生の『税に関する標語』などの展示

◇平成21年分年末調整説明会

▼日時 11月24日(火) 14時～

▼場所 市民会館大ホール

▼対象 給与を支給している事務所  
▼内容 年末調整の仕方、留意事項、用紙の記載方法、今年度の改正点、電子申告の利用について

◇e-Tax(国税電子申告・納税システム)をご利用ください

e-Taxでは、国税に関する各種手続き(①所得税、法人税、消費税、酒税、印紙税の申告、②インターネットバンキングなどを利用した全税目の納税、③法定調書の提出や納税証明書の交付請求のほか、各種申請・届出の提出)がインターネットで行うことができます。

■メリットは：  
①ホームページから簡単申告  
②最高五千円の税額控除  
③添付書類を提出省略  
④還付金がスピーディー



※詳しくは、国税庁ホームページ (<http://www.e-tax.nta.go.jp>) をご覧ください。

▼問い合わせ 室蘭税務署

(☎224151)

平成22年4月から改正労働基準法が施行されます

●主な改正内容

- ①1カ月60時間を超える時間外労働について、割増賃金率が5割以上に引き上げ(猶予事業場あり)
- ②割増賃金の支払いに代えた有給休暇の仕組みの導入
- ③限度時間を超えた時間外労働に対する割増賃金率の引き上げなどが努力義務に
- ④年次有給休暇が時間単位でも取得可能

※詳しくは、北海道労働局ホームページ (<http://www.hokkaido-labpr.go.jp>) をご覧ください。

▼問い合わせ 室蘭労働基準監督署 (☎236131)

小規模企業共済、経営セーフティ共済のご案内

小規模企業共済は、個人事業主や会社などの役員の方が事業をやめたり退職した場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金をあらかじめ準備しておく国の共済制度です。

経営セーフティ共済は、取引先の突然の倒産が原因で、経営悪化の危機に直面した場合に、資金を借り入れることができる国の共済制度です。制度の運営は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が行っています。

▼申込方法 商工会議所、金融機関などの窓口でお申し込みください

▼問い合わせ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 (☎03-5470-11690)

『胆振ものづくり産業振興連携会議』から各種情報をお届けします

胆振管内の産学官で構成する『胆振ものづくり産業振興連携会議』では、事業者のお役に立つ各種情報をメールでお届けします。

また、各種制度の活用を希望する事業者のご相談にも対応します。

▼対象者 原則、胆振支庁管内に本社または事業所がある事業者

▼提供する情報 胆振ものづくり産業振興連携会議の構成団体による各種セミナーや研修会、商談会、助成制度の募集案内など

▼登録方法 企業名、担当者職氏名、電話番号、情報を送信するアドレスを記入の上、メール ([iburi.sho.ko1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:iburi.sho.ko1@pref.hokkaido.lg.jp)) に送信してください

▼問い合わせ 胆振支庁商工労働観光課 (☎249590)

コミュニケーション&クリエイティビティ

室蘭民報社 胆振中部支社

胆振中部支社/☎059-0011 登別市中央町1丁目12番地11 ☎0143-85-4530  
Eメール [chubu@vega.ocn.ne.jp](mailto:chubu@vega.ocn.ne.jp)

本社/☎051-8550 室蘭市本町1丁目3番16号 ☎0143(代表)22-5121  
●胆振支社 ●西部支社 ●中部支社 ●白老支局 ●白樺支社 ●札幌支社 ●東京支社 ●大阪支社  
●ホームページ <http://www.muromin.mnw.jp> ●Eメール [honsya@muromin.mnw.jp](mailto:honsya@muromin.mnw.jp)

不動産登記<相続・売買・贈与など>  
債務整理<毎月返済すると生活費が不足していませんか?>

—早期ご相談が解決へのみちです—

お問合せ先0143-81-2000

黒崎司法書士事務所

登別市千歳町1丁目5番地3

## 『無料調停相談会』を開催します

～室蘭調停協会～

▼日時 11月19日(木) 9時30分～15時

▼場所 ポスツール室蘭2階文化ホール (室蘭市東町)

▼内容 土地・建物、金銭、家庭、そのほか『民事』『家事』に関する相談

▼問い合わせ 札幌地方裁判所室蘭支部庶務課 (☎446733)

## 『女性の人権ホットライン』特設電話相談所を開設します

～札幌法務局・札幌人権擁護委員連合会～

▼相談日時 11月15日(日)、21日(土) 10時～17時、11月16日(月)～20日(金) 8時30分～19時

▼相談内容 職場におけるセクシャル・ハラスメント、夫やパートナーからの暴力など

※秘密は厳守されます。

▼女性の人権ホットライン ☎057010701810

## 職場のトラブルの解決をサポートします

北海道労働局では、無料で個別労働紛争の解決援助サービス(①総合労働相談コーナー)における情報提供

相談、②労働局長による助言・指導、③紛争調整委員会によるあっせん)を提供しています。

▼問い合わせ 北海道労働局企画室 (☎011-709-2311)

## 貸金業のルールが変わります

個人が貸金業者から借りられる額が年収の3分の1までに制限されるなど、来年6月(予定)から貸金業法のルールが大きく変わります(銀行などは別の扱いになります)。

違法なヤミ金業者など、不安がある場合はお問い合わせください。

▼問い合わせ 胆振支庁商工労働観光課 (☎249589)

## 働く方の最低賃金額が変わりました

10月10日(土)から、道内で事業を営む使用者と雇用されている労働者(臨時、パートタイマー、アルバイトを含む)に適用される北海道最低賃金額が次のとおり改定されました。

◎最低賃金額 時間額678円

▼問い合わせ 室蘭労働基準監督署 (☎236131)

## 一人でも雇ったら入ろう労働保険

労働保険は、労働者の生活の安定、

## 無料法律相談

交通事故や金銭貸借、損害賠償、離婚などの相談を弁護士がお受けします。

▶担当弁護士 芝垣 美男弁護士  
▶場所・日時・定員・申込期限

場所	日時	定員	申込期限
鉄南ふれあいセンター	12月19日(土) 9時30分～12時	6人 (申込順)	11月27日(金)までに電話で
担当弁護士事務所	申し込み後、ご本人から弁護士に相談日予約の電話をしていただきます	6人 (申込順)	

## くらしの無料相談

～北海道行政書士会室蘭支部主催～

相続や遺言、各種契約など官公署に提出する書類について、行政書士が相談をお受けします。

▶日時 11月28日(土) 9時30分～12時  
▶場所 鉄南ふれあいセンター  
▶定員 10人(申込順)  
▶申込期限 11月27日(金)

※直接会場にお越しいただいても相談できますが、できるだけ事前にお申し込みください。

## そのほかの相談

市民生活や消費生活・多重債務に関する相談も随時、受け付けています。

また、DVに関する相談も受け付けていますので、もし、あなたが配偶者や恋人から暴力を受けているなら、一人で悩まず相談してください。

なお、消費生活に関する問題は、消費生活センター(市民サービスグループ内・☎853491)および登別消費者協会(労働福祉センター内・☎858307<火～金曜日10時～16時>)でも受け付けています。



申し込み・問い合わせ  
市民サービスグループ  
(☎852139)

労使の協力で進めよう!  
労働時間の適正化

全国一斉  
無料相談ダイヤル

☎0120-794-713

相談日時

11月21日(土) 9時～17時

問い合わせ

北海道労働局

(☎011-709-2311)

福祉の増進のために政府が直接管理運営している労災・雇用保険です。農林水産業の一部を除き、労働者が一人でも雇用する事業については加入が義務付けられています。労働保険に加入し、従業員が安心して働ける職場にしましょう。

▼問い合わせ 北海道労働局労働保険適用室 (☎011-709-2311)

自衛官を募集します

- ▼募集項目 高等工科大学校生徒
- ▼募集資格 中学校卒業（見込み含む）で17歳未満の方
- ▼受付期限 平成22年1月8日（金）
- ▼試験期日 1次：平成22年1月23日（土）、2次：平成22年2月6日（土）
- （9日（火）のいずれか1日）
- ▼申し込み 自衛隊札幌地方協力本部室蘭地域事務所（☎49533）

平成22年度登別地方高等職業訓練校の入校生を募集します

訓練科目	入校資格	訓練期間	定員
木造建築科	中学校卒業以上の学力のある方	2年間（昼）	各10人
建築板金科			
建築塗装科			
建築設計科	高校卒業以上の学力のある方	2年間（夜）	20人
経理事務科			
OAシステム科		1年間（夜）	

※訓練期間の（昼）は9時～17時、（夜）は18時～21時

- ▼対象 現在または過去に雇用保険の被保険者である方
- ▼受講料 1～6万円
- ▼申し込み 1月29日（金）までに登別

職業訓練協会（☎851450）

『障害者週間記念事業』を開催します

- 障がいに対する理解を深めませんか。運営に協力いただけるボランティアの方も募集しています。
- ▼日時 11月21日（土）・22日（日） 10時～17時
- ▼場所 アーニス1階広場
- ▼内容 障がい者作品展示、介護用品展示、障がいに関わる相談やボランティア体験など
- ▼問い合わせ 登別市障害者福祉関係団体連絡協議会（登別市社会福祉協議会内・☎880860）

北海道障害者職業能力開発校の入校生を募集します

- 求職中の障がい者の入校生（訓練期間1・2年間）を募集しています。
- ▼願書受付期間 11月20日（金）まで
- ※詳しくはお問い合わせください。
- ▼申し込み 北海道障害者職業能力開発校（☎0125522774）

『就職困難者のチャレンジ研修』の参加者を募集します

- ▼日時 11月4日（水）～平成22年3月18日（木）（全85日間） 9時～16時
- ▼場所 いぶり障がい者花づくりネ

- ▼対象 就職に意欲がある障がいのある方
- ▼内容 花苗栽培とフラワーアレンジメント作業を中心とした研修
- ▼受講料 無料
- ※詳しくは、協議会ホームページ（<http://www.noboriibetsu.lg.jp>）をご覧ください。

- ▼申し込み 登別市雇用創造推進協議会（商工労政G内・☎852171）

パソコンで遊ぼう

- ～NPO法人シニアネットいぶり～
- ▼日時 11月8日（日） 10時～15時
- ▼場所 室蘭市市民会館（室蘭市輪西町）
- ▼内容 パソコンを使った動画編集、ペーパークラフト、音楽コーナ、パソコン解体、講演・講習会など
- ▼問い合わせ 工藤さん（☎452726）

市民パソコン講座

『ワード・エクセル実践講座』を開催します

- ▼日時 12月7日（月）～18日（金）（土・日曜日を除く） 9時30分～15時30分
- ▼場所 登別地方高等職業訓練校
- ▼内容 簡単な文章や家計簿の作成、宛名印刷など
- ▼受講料 1万8千円

- ▼定員 20人（申込順）
- ※受講者が少ない場合は、実施を中止する場合があります。
- ▼持ち物 上履き、筆記用具、昼食
- ▼申し込み 11月30日（月）までに登別職業訓練協会（☎851450）

講演会『郷土史の調べ』にお越しください

- ～登別郷土文化研究会～
- ▼日時 11月6日（金） 18時～
- ▼場所 市民会館中ホール
- ▼演題 登別の自然～『クッタラ火山』と『登別化石林』～
- ▼講師 倉澤保文さん（登別市郷土資料館ボランティアグループSLG）
- ▼問い合わせ 街道さん（☎855721）

暮らしと家計の講習会を開催します

- ▼月日・場所 11月13日（金）：婦人センター、19日（木）：登別市中央福音教会
- ▼時間 10時～12時
- ▼内容 家計簿を使った予算の立て方、バランスの良い食事など
- ▼参加料 450円（当日券500円）
- ※託児は予約が必要です（託児料150円・託児食付き）。
- ▼申し込み 室蘭友の会（☎450605）

『申し込み』中の『G』は『グループ』の略です

# 情報あらかると

## 縄文体験『もつとまが玉をつくろう』に参加しませんか

- ▼日時 11月14日  
(土) 10時～12時
- ▼場所 カント・レラ
- ▼内容 いつもと違う形のまが玉作り
- ▼定員 30人(申込順)
- ▼参加料 400円
- ▼申し込み 11月13日(金)までに電話でカント・レラ(☎842069)



## 登別厚生年金病院からのお知らせ

- ◎高血圧教室
- ▼日時 11月11日(水) 15時～16時
- ▼場所 登別厚生年金病院
- ▼対象 高血圧患者とその家族など
- ▼内容 高血圧と合併症、食事療法について
- ※直接会場へお越しください。
- ▼問い合わせ 栄養部 (☎803235)
- ◎脂肪控えめ簡単料理教室
- ▼日時 11月20日(金) 10時30分～13時
- ▼場所 登別厚生年金病院
- ▼内容 豚肉の南蛮蒸し、やき揚げの和風サラダ、サツマイモのレモ

- ン煮
- ▼申し込み 11月16日(月)までに電話で栄養部(☎803235)

## 『ヘルスサポーター21』の集いに参加しませんか

- ▼日時 11月24日(火) 9時30分～15時
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 市内居住の18歳以上の方
- ▼内容 栄養に関するお話、調理実習(焼き鮭の南蛮風味、五目野菜漬け、ほか2品)
- ▼定員 30人
- ▼参加料 300円(教材費・食材費)
- ▼持ち物 エプロン、三角きん、筆記用具
- ▼申し込み 11月21日(土)までに電話で渡辺さん(☎862755)

## 市民ゲーム大会を開催します

- ▼日時 11月8日(日) 9時30分～13時
- ▼場所 鉄南ふれあいセンター
- ▼内容 健康体操や各種ゲームなど
- ▼参加料 250円
- ▼持ち物 運動しやすい服装、上履き、タオル、飲み物
- ※昼食にスイートン汁がです。
- ▼申し込み 11月6日(金)までに電話で荒生さん(☎868636)

## 11月の歯科救急医療

日時	診療所名	住所・電話番号
11月1日(日) 9時～11時	山本 歯科医院	室蘭市知利別町2-26-1 ☎451677
	えばた 歯科医院	登別市新川町4-15-10 ☎890809
11月3日(火) 9時～11時	前田 歯科医院	室蘭市中央町3-5-6 ☎225367
11月8日(日) 9時～11時	みうら 歯科	室蘭市港北町2-6-1 ☎556330
	石川 歯科医院	伊達市元町46-13 ☎014230020
11月15日(日) 9時～11時	水野 歯科医院	室蘭市東町2-19-14 ☎444500
11月22日(日) 9時～11時	森歯科クリニック	室蘭市港北町2-5-18 ☎550118
11月23日(月) 9時～11時	本田 歯科	室蘭市港南町1-9-19 ☎223322
11月29日(日) 9時～11時	横山 歯科医院	室蘭市母恋北町2-3-16 ☎222394

問い合わせ

室蘭歯科医師会 (☎433522)

## 11月中旬～12月上旬の市立図書館行事

日時	場所	行事の内容の概要	対象
11月11日(水) 10時30分	市立図書館	おはなしくれよん『わらべうたと絵本の読み聞かせ』	乳幼児
11月14日(土) 13時30分		DVD上映会	幼児 小学生
11月25日(水) 10時30分		おはなしくれよん『わらべうたと絵本の読み聞かせ』	乳幼児
11月28日(土) 13時30分		おはなしぼけっと『絵本の読み聞かせ』	幼児 小学生
12月5日(土) 10時30分		クリスマスツリー作り『どんぐり・まつぼっくりなどでクリスマスツリーとオーナメント作り』	幼児 小学生 (定員15人)
12月5日(土) 13時30分		絵本の読み語り『絵本劇場』	幼児～ お年寄り
12月9日(水) 10時30分		おはなしくれよん『わらべうたと絵本の読み聞かせ』	乳幼児

▶参加料 無料

※幼児は、保護者同伴とします。

※12月5日の『クリスマスツリー作り』は11月25日(水)までに電話でお申し込みください。(申込順)

毎週木曜日は19時30分まで開館しています

申し込み・問い合わせ 市立図書館(☎84324)

ホームページ <http://library.city.noboribetsu.lg.jp> (携帯電話からはこのアドレスの末尾に/m/)

市民そば打ち講習会を  
開催します

～登録蕎麦道場～

- ▼日時 11月22日(日) 9時～
- ▼場所 札内高原館
- ▼定員 20人(申込順)
- ▼参加料 2千円(材料費・試食を含む)
- ▼申し込み 11月10日(火)までに電話  
で二木さん(☎852773)

新そばでそばを  
打ってみませんか

～蕎麦道場・三幸～

- ▼日時 11月21日(土)・22日(日)・23日(月)  
午前の部：8時30分～12時、  
午後の部：15時～17時
- ▼場所 三幸食堂2階
- ▼定員 各10人(申込順)
- ▼参加料 1千500円
- ▼持ち物 上履き、タオル、エプロン
- ▼申し込み 11月10日(火)までに電話  
(14時～17時)で多田さん(☎855898)

おしゃれな巣箱をつくらう

～自然愛好グループヨシキリの会～

- ▼日時 11月28日(土) 9時～12時30分
- ▼場所 ふおれすと鉾山
- ▼内容 おしゃれな巣箱造り

- ▼定員 10人(申込順)
- ▼参加料 300円(材料費)
- ▼申し込み 11月20日(金)までに伴野さん(☎・FAX857515)

第45回登別市民文化祭  
登別コーラスフェスティバル31  
を開催します

- ▼日時 11月15日(日) 15時30分～
- ▼場所 市民会館大ホール
- ▼出演 登別女声コーラスMFC、  
女声コーラスしおさい、ボニー・  
クラック、シルバーH.G、すずかけ  
コーラス、合唱団あすなろ、登  
別明日中等教育学校合唱部、合唱  
愛好者
- ▼入場料 500円(小学生以下無料)
- ▼問い合わせ 登別合唱協会・打矢  
さん(☎860150)

ユニセフ募金に  
ご協力ください

～日本ユニセフ協会～

イラクやアフガニスタンの子どもたちのために、募金活動とユニセフカードの販売を行います。昨年お渡ししたファミリーボックスの回収も行いますので、ご持参ください。

- ▼日時 11月22日(日) 10時～15時
- ▼場所 アーニス1階
- ▼問い合わせ 川瀬さん(☎831027)

日本工学院北海道専門学校便り

問い合わせ ☎880888

『日本工学院 on the radio』放送スタート!

日本工学院北海道専門学校提供のラジオ番組『日本工学院 on the radio』(略してニコラジ)が10月8日(木)よりFMびゅ～(84.2メガヘルツ)でスタートしました。



ニコラジは学校のイベント情報はもちろん、個性豊かな先生や学生、部活の最新情報も発信していきます。毎回テーマを設定して、皆さんからメッセージ・リクエストを募集しながら、楽しいトークを繰り広げていきたいと思っていますので、メールなどでぜひ番組に参加してください。

ニコラジは毎週木曜日19時30分～20時放送  
番組メールアドレスは→nikoradi@nkhs.ac.jp、ファクスは→FAX86644

◎11月の一日体験入学

- 7日(土) 11時30分～15時30分
- ▶問い合わせ：入学広報室(☎0120-666-966・ホームページ：http://www.nkhs.ac.jp)

『アフターサミット事業』  
アフリカの難民の方へ衣料を送ります  
～のぼりべつ国際交流会・市共催～

昨年は、北海道洞爺湖サミットのテーマの一つでもあるアフリカ支援の一環として、難民の方にダンボール223個分の衣料などを送ることができました。今年も、持参いただいた衣料などを難民の方に送ります。

- ▶日時 11月29日(日) 10時～14時
- ▶場所 市民会館、鷺別公民館、婦人センター
- ▶受け入れる物 新品の下着、パジャマ、タオル、タオルケット、シーツ、洗濯済みの毛布、ズボン、Tシャツ、トレーナー、セーター、ジャンパー、コートなど
- ▶受け入れない物 スーツ、スカート、ワンピース、和服、ふとん、ベビー服、小物類(ネクタイ、ベルト、帽子、手袋など)

※詳しくはお問い合わせください。  
※持参いただいた衣類などは、アフリカ以外の難民の方に送られる場合があります。

- ▶搬入方法と送料一部負担金 りんご箱程度のダンボールに入れて持参ください。1箱につき500円の負担をお願いします。
- ▶問い合わせ 田中さん(のぼりべつ国際交流会・☎880797)

# ふおれすと鉱山の今月のイベント

申し込み・  
問い合わせ  
(☎85 2 5 6 9)

行事名	内容	日時	対象・定員・参加料	申し込み・備考
森のちょこっと 子育てひろば	森の中の子育てサロン	11月4日(水)、11日(水)、 18日(水)、25日(水) 10時～12時	未就園児とその保護者 50組(年間登録・申込順) 1組(2人)300円 ※一人増えるごとにプラス100円	当日直接会場へ 着替え持参
もりもり 森子くらぶ	子どもは秋の森へ探検へ 大人はカボチャのおやつづくり	11月14日(土) 13時～15時	5歳以上の未就学児とその保護者 15組(申込順)	11月5日(水)～10日(火)に 電話
森のようちえん	とんとんまき割りで焚き火～キ ャンプでお泊り～	①11月14日(土)～15日(日)、 ②11月22日(日)～23日(月) 10時～14時	3歳以上の未就学児とその保護者 各15組(申込順)	①は11月6日(金)～10日 (火)に、②は11月6日(金) ～17日(火)に電話
第10回ガイドウォーク	ふおれすと鉱山のスタッフが周 辺の自然を案内	11月19日(水) 10時～12時	18歳以上の方 10人(申込順) 300円	前日までに電話
ながぐつレンジャー	ログハウスをつくろう	11月21日(土) 10時～15時	小学生 35人(申込順)	11月12日(水)～17日(火)に 電話
鉱山大同窓会	昔話に花を咲かせ、なつかしい 時代をひもときます	11月22日(日) 10時～15時	200円	前日までに電話 鉱山にゆかりのある写 真1枚程度を持参
森からつながる環境保全Ⅱ 森の居場所づくり～枯れ枝を払 おう!	作った散策路の整備	11月23日(月) 10時～15時	18歳以上の方 15人(申込順) 200円	前日までに電話 昼食持参
たまにはアウトドアライフ	石がまを使ったアウトドア料理	11月26日(水) 10時～14時	18歳以上の方 15人(申込順) 700円	前日までに電話 昼食持参
森のサロン	アウトドアキッチン	11月27日(木) 10時～12時30分	未就園児とその保護者	11月17日(火)～20日(金)に 電話
ふおれすと鉱山流里山づくり 『ログハウスづくりお手伝い』	ログハウスづくりのお手伝い	11月28日(金) 10時～14時	20人(申込順) 200円(小学生以下100円)	前日までに電話 昼食持参
コーザンドタバタ井戸端会議 (利用者会議～一般編)	ふおれすと鉱山をもっと活用し やすくするための会議	11月29日(土) 13時～15時	-	前日までに電話 マイカップ持参

※屋外での行事は、動きやすい服装と靴で、防寒着や帽子、手袋などを持ってお越しください。

## 市民プール『らくあ』からのお知らせ

問い合わせ  
(☎85 5 5 8 8)

### ◎水中運動教室

各教室、初心者の方も自分のペースで体を動かせる内容になっています。音楽に合わせて楽しみながら、無理なく筋力を付けることができます。

●**受講料** 各教室月額2,000円(月4回実施)

※登別市国民健康保険、登別市長寿医療制度加入者は月額1,000円。

●**定員** 各教室30人(申込順)

●**教室・曜日・時間**

火	水	木	金	土
元気アップ教室 (若干名) 10時30分 ～11時30分	アクアピクス教室 10時30分 ～11時30分	らくらくシェイプ アップ教室 10時30分 ～11時30分	元気アップ教室 10時30分 ～11時30分	-
アクアピクス教室 (若干名) 13時～14時	らくらくシェイプ アップ教室 13時～14時	スイム&アクアピ クス教室(若干名) 13時～14時	リハビリ教室 13時～14時15分	-
水中ウオーキング 教室 14時30分 ～15時30分	-	水中ウオーキング 教室 14時30分 ～15時30分	-	-
-	スイムdeシェイプ 教室 19時30分 ～20時30分	アクアピクス教室 19時30分 ～20時30分	アクアサーキット 教室 19時30分 ～20時30分	アクアピクス教室 19時～20時

### ◎ヨガ教室

初心者の方対象の教室です。

●**日時** 水曜日教室 11時～12時、  
金曜日教室 13時30分～14時30分、  
金曜日教室(夜間) 19時～20時  
(若干名)

●**定員** 各教室20人(申込順)

●**受講料** 各教室月額2,500円(月  
4回実施)

### 申し込み

市民プール『らくあ』で随時受け付けしています。

※お電話での申し込みはお受けできません。

※各教室とも初回受講時に、別途スポーツ安全保険料1,600円が掛かります。

※受講料のほか、別途入館料が掛かります。

# ちよつと ひょうじんせ

## 名前は最初の贈り物

最近の新聞のお誕生欄を読んでいると、ふりがななしでは読み方が分からない名前が多いと感じる今日ごろ。

今年の名前で一番人気が、男の子は『大翔』だそうです。皆さんどう読むか分かりますか。『たいしょう』ではありません、『ひろと』と読むそうです。

わたしたちのころは、○男や△子などの名前が多かったように思いますが、名前にも流行があるようです。ですが、読み方は難しくなっても、きつと両親が赤ちゃんにいろんな思いを込めてつけたのでしよう。

名前は赤ちゃんが初めてもらうプレゼントと何かの本にも書いていました。わたしも娘に名前を付けたときには、姓名判断の画数や入れたい漢字など、いろいろ悩んだ記憶があります。

娘に名前を付けてから、ふと自分の名前の由来が気になったので父に尋ねると、職場の同僚の名前をもらったとひとこと…。姓名判断ぐらいは調べとけよ、おやじ…。

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進グループへ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

情報推進グループ

☎(85) 6586  
FAX (85) 1108

Eメール:pr@city.noboribetsu.lg.jp

中央町6-11

とはいえ、元気に育ってくれば名前や画数なんて気にしなくていいのかもしれないね。

(新川町・30代男性)

## 心のバリアフリーを根付かせるには

先月の広報のぼりべつの仲間たちで、心のバリアフリーの普及に努める団体の紹介を見て、非常に感心しました。

みんなが同じような気持ちでいられたら非常に素晴らしいまちになるでしょうね。

しかし、先日スーパーに買い物に行きましたが、身体障害者用駐車スペースに堂々と車を止める若い夫婦を見掛けました。どうみても障がいのある方には見えませんでした。

やはり、心のバリアフリーを根付かせるためには、小学生の道徳を学ぶ時期にしっかりと教育していく必要があると思います。そして、その子どもが親に注意していくことで、少しでも心のバリアフリーが根付いていくのではないのでしょうか。

(富岸町・主婦)

## ダイヤル市 不用品

お申し込み・お問い合わせは  
登録消費者協会 (☎8307)

火～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00

※お申し込みは、市内に居住する方が対象で、登録期間は6カ月です  
※継続希望の場合は、再度お申し込みください。  
※宝飾品は受け付けません。

### ゆずります (売ります)

- もちつき器 ●ジュニアドレスサーイす付き (幅50×高さ140) ●大正琴 ●製図版 ●野球バット ●温泉卵器 ●かき氷器 ●パソコンプリンター ●英和辞典 ●買い物かばん (4種類) ●幼児用自転車 (青色・補助輪付き) ●スキー板・靴付き (165・22.5) ●歩くスキー (靴25～26) ●鉛筆12 ●大型ホチキス (針2箱付き) ●ひな人形 (7段飾り) ●漢字字典 ●グローブ ●和裁盤板 ●除湿機 ●電気敷毛布 ●黒板 ●囲碁一式 ●茶たんす (幅200×奥行40×高さ150) ●スタッドレスタイヤ・アルミホイール付き (180×70R) ●マージャンパイ (旧式・新式) ●パソコンディスプレイ ●模型飛行機 (約20年前製作)

### ゆずってください (買います)

- ワープロ ●DVDデッキ ●車いす ●室蘭市・登別市地図帳 ●ベビーベッド ●ドレスサー ●食卓テーブル ●硬式バット ●電動ミシン ●テレビ台 ●まき割りまさかり ●折りたたみベット ●ルームランナー ●パークゴルフセット一式 (男女用)

## ほん

### 今月の新着図書

市立図書館  
☎4324



### 東土の密約

今野 敏 著

赤坂で殺人事件が発生した。被害者は右翼団体に所属する男。さらに次々と事件が起き…。殺人者はプロ、鍵はロシア。警視庁公安部の倉島は、公安捜査官の意地と誇りをかけて敵に挑む。



### 黒澤明という時代

小林 信彦 著

『世界のクロサワ』の全作品を公開時に観続けてきた著者が、時代と格闘してきた映画作家・黒澤明の栄光と挫折、喜びと苦悩を描く。

### このほかに新しく入った本

- ◇神様のカルテ 夏川 草介 著
  - ◇はじめの麦わら帽子 本上まなみ 著
  - ◇新参者 東野 圭吾 著
  - ◇女流阿房列車 酒井 順子 著
  - ◇ピヨンド・エジソン 最相 葉月 著
  - ◇ブラックホールを見つけた男 アーサー・I・ミラー 著
  - ◇建築する動物たち マイク・ハンセル 著
  - ◇ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。 辻村 深月 著
- ※図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。

# 地域だより

町内会のいきいき実践活動を紹介

市連合町内会事務局

市民サービスグループ内

☎85 2 1 3 9

FAX 85 1 1 0 8

常盤町内会

## 楽しさいっぱい『納涼まつり』



常盤町内会  
会長 関藤輝雄

会員や役員が一丸となり企画・運営し好評の『納涼まつり』は毎年8月上旬に開催。子どもたちが楽しみにしている手作り露店では竹馬乗りや射的、焼き鳥などを楽しみ、まつりの最後はビンゴゲームで歓声が沸き上がります。この『納涼まつり』で会員の交流・親ぼくが深まり町内活動を推進する活力となっています。

さくら団地自治会

## 地域環境美化と野外懇親会



さくら団地自治会  
会長 田淵純勝

春・秋の市内クリーン作戦に併せて沿道の草刈りや公園整備、廃品回収などに町内会会員がそれぞれ汗を流しています。また、親ぼく事業では、平成10年から毎年春と秋にパークゴルフ大会を開催しています。各種事業には多くの参加を願い、自分の住んでいる地域活動はみんなので築き上げる意識を育てています。

旭ヶ丘町内会

## 地域情報は『町内会だより』から



旭ヶ丘町内会  
会長 工藤利明

町内会事業の紹介や身近な地域の話題をお知らせする『町内会だより』は、創刊から36号を数えます。町内会行事などの写真をカラー印刷で掲載し、家族団らんの話提供にもなっています。町内会だよりを通して、町内会活動への関心と参加意識の向上を目指して発行を継続しています。

若草町内会

## 心安らぐ・憩いの優和公園



若草町内会  
会長 長谷川一美

優和公園では、住民パワーを結集して造られたパークゴルフ場で健康づくりをし、四季折々の草木や花により春は桜、秋は紅葉が楽しめ、自然散策路には俳句・川柳の短歌などの句碑が道行く人に感動を与えています。『七夕まつり』では短冊が飾られ、家族で楽しい夏のひとときを過ごします。



## 青葉児童館開設！！

### 第2回定例会

8月30日に執行された第45回衆議院議員総選挙の結果が注視される中、9月11日～30日までの会期で開催しました。

主な内容は：

(1)平成21年10月1日～23年3月31日の期間で出産をしたときに支給される「出産育児一時金」を、4万円増額する法改正が、国の緊急少子化対策として行なわれました。これをつけて、登別市国民健康保険条例の一部を改正しました。

また、10月1日の青葉児童館の開設に伴い、登別市児童館条例の一部を改正しました。

(2)民間の土地開発行為に伴い、「桜木町の一部を緑町に編入する町の区域の変更」を決めました。

(3)「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成20年度決算から適用となる4つの指標と資金不足比率について、いずれも健全段階であることの報告がありました。

(4)意見書については、「基地対策予算の増額等を求める」・「核兵器の廃絶を求める」など7件を可決しました。

尚、平成20年度決算についても提案され、10月20日～22日まで審議しました。

### 総合体育館が一部バリアフリーに

一般会計補正予算と老人保健特別会計補正予算を9月28日に審査しました。

主な内容は・・・

④総合体育館の整備内容について、および、玄関を自動ドアに改修する考え方について。

⑤洋式便座を男女一ヶ所ずつ、L字型手すりなどを設置。玄関はスロープにする。自動ドアについては道路の改修状況に応じて前向きに検討する。

⑥住宅手当緊急特別措置事業費での支給手続きの方法と周知体制の考え方について。

⑦手続きは社会福祉グループが担当。周知にはパンフレットを作成し、社会福祉協議会・ハローワークなど関係機関に配置する。

⑧消費生活相談を担う嘱託員の配置体制の考え方について。

⑨「消費相談センター」を10月1日から設置するに伴い機能強化のあり方についても、今後検討する。

これらの質疑の後、全会一致で可決しました。





# 市へ質問



日本一の健康保養地  
目指せ！  
山口賢治

今回は「男女共同参画社会について」各種審議会の委員を男女半数ずつにすべくという提案を含め、大綱5項目について質問をした。「健康保養地構想策定について」の項目では、生活福祉部の事業として、北大の温泉療法医や代替療法、スポーツドクターなどの専門家を集めた策定委員会を設置すべきであると提案した。室部長と小笠原市長共に「健康保養地を理解する為に、専門家との意見交換の場を設けて勉強したいので、力を貸してほしい」との前向きな答弁があった。



パブコメは  
条例で制度化を  
石山正志

『これまで手を付けて来なかった「パブリックコメント手続き（意見公募手続き）」の制度設計に関する当市としての考え方について伺う。』との質問に対し『パブリックコメント手続きの制度化は「要綱」を作成し実施する予定である。すでに原案は出来ており、年内に自治推進委員会や市民に対して意見の提出を募りたい。』と答弁しました。しかし、行政手続法第46条の主旨は、自治体に「条例」としての制度化を求めるものであるとして要綱作成に疑問を投げ掛けました。



学校支援者の  
確保について  
天神林美彦

● 昨年度から、西陵中学校区をモデル地区として体制づくりを進めている「学校支援地域本部事業」での「ねらい」とも言える「学校支援者」（学校支援ボランティアや地域住民など）の確保に向けた具体的な取り組みを聞きたい。

● 基本的には、学校の町内会等を通じて、多くの支援者の募集を行うことになっている。

さらに、現在更新を予定している「生涯学習人材バンク」も併せて、様々な人材を確保したいと考えている。



市民の命を守る地域の  
病院について  
平田江美子

● 厚生年金病院は整理機構に移管されており、来年9月が存廃のタイムリミットとなっている。

総選挙で政権交代がおこなわれる現状において、今後どのようなことになるかわからない。市民も大変不安を感じている、存続に向けてどのように考えているのか。

● 救急医療の一翼を担うなど地域医療に果たす役割は大きく、重要な病院と考えており、今後も公的病院として存続できよう国に要望していく。



観光客の  
誘致について  
木村俊子

● 観光は平和産業である。「国家の安全保障」から「人間の安全保障」へ「軍事的安全保障」から「文化的安全保障」へ変えることができる観光に、より誇りをもって取り組むべき。また、本年は7月より中国の個人観光ビザが解禁になり北海道観光が注目されている。18億枚発行されている銀聯カードの市内での取り扱い状況と今後について。

● 誘致については各関係機関と連携を強め、積極的にプロモーションを行う。銀聯カードは市内2軒で取り扱っている。



今後の教育行政に  
ついて  
山田新一

● 政権交代により、学力テストが全国一斉方式から、抽出方式に変更する政策が示されている。全国と当市の学力水準を意識し、今後の授業の進め方、学習の成果検証のために、市独自の学力テストを必要と考えるが、どう認識しているか。

● 教育の水準を確保する観点から、全国一斉学力調査は、教育施策の効果や課題を検証し、その改善を図る上で効果を上げてきた。抽出対象にならなかった場合は市単独実施の方法を検討する。

# 市へ質問



みんなで観光の  
まちづくり  
辻 弘之

登別市だけでなく、近隣自治体とともに、それぞれの魅力を発揮した観光産業の振興を図れるよう、国土交通省による「観光圏」の認定に取り組むことを提言。当市が「定住促進地区」として、観光圏整備実施計画の策定を本年度中にすることになりました。また、家庭への太陽光発電導入費助成制度の設立など、環境政策の積極的展開を提言。来年度市政執行方針において、環境政策が盛り込まれることになりました。最後に、災害時要援護者への支援強化を再三訴えました。



小学校のグラウンドの  
暗きよ排水工事について  
渡辺 勉

【問】毎年運動会シーズンになると教員を悩ませるのは、一度雨が降ると練習が2、3日出来ないこと。時には、外で一度も練習できないで当日を迎えることもあり子ども達の負担も大変なものである。教員達は、当日、朝5時半出勤ということもあり、正常な教育活動ができる環境ではない。グラウンド整備の年次計画を立て子ども達が力いっぱい活動できる教育環境整備を行うべき。

【答】グラウンド状況は承知している。排水工事の必要性については一度検討したい。



将来の登別の  
議論を！  
赤根 広介

【問】自治体間の新たな連携の形として、「定住自立圏構想」が国から示された。室蘭市が年内に中心市宣言をする意向だが、提携を結んだ場合の圏域全体と、当市におけるメリットと今後の市民に対する周知・議論の手法については。

【答】中心市が持っている機能により、周辺市町村の生活機能が補完される。また、昨年度策定した「西胆振地域づくりビジョン」と併せて、「定住自立圏構想について」の意見交換の場が必要であると思っている。



登別市経済（産業）  
政策の樹立を！  
西村 孝夫

【問】現在観光を中心とした産業クラスター計画を基に、産業政策が進められているがその検証、効果が見えないことから市内の各産業が連携し、各分野別に個別指標が見える基本政策を樹立すべきでないか。そのためには総合計画基本計画の実施計画を樹立して、具体的な地域経済（産業）活性化策を展開すべきではないか。

【答】現在の市の財政状態を考えると多大な投資に耐えられないことから国の動向に従いたい。



中学校の運動部活動  
について  
成田 昭浩

【問】部活動の重要性、必要性を行政は認識しているものの、積極的な環境改善には至っていないのが現状である。生徒・教員の減少、教員の多忙・高齢化、適切な指導者確保の困難さや、生徒・教員・保護者・指導者間の連携不足など、学校だけの問題ではない。地域を含め、行政がリードした仕組みづくりを進めるべきと指摘。部活動がスムーズに理想的、有意義なものになるように、また大きな問題が起こる前に現場の実態を把握するよう努めるべきである。先進自治体の事例を研究し、サポート及び指針を示すべきと提言した。



組織機構のあり方  
検討の状況は  
高橋 正美

【問】庁内におけるグループ制の見直しを含めた組織機構のあり方の検討状況はどうなっているのか。

【答】高額療養費問題に関連して『再発防止の取り組み計画』を策定したが、その計画に基づき、グループ制のあり方や検証を含めて7月・8月に全職員にアンケート調査を実施し、現在取りまとめているところである。

【問】その結果を基に検証し、次年度の組織機構の見直しにあわせて、ともに検討していきたい。



登別の今後の進路と  
その取り組みは  
松山 哲男

【問】市長就任1年の経過と政権交代や世界的な大転換期といった時代背景において、現状の検証と見直しをし、登別の今後の進路とその取り組みを明らかにするべきである。総合計画見直しの考えや基本計画の「やさしさ」と共生するまちと「大地に根ざしたたくましい産業」が根ざすまちの各施策推進上の課題などを質問。さらに、様々な立場の方々との助け合いの仕組みづくりや、観光振興について新たな視点での戦略・戦術を構築することなど、提言を交えながら再質問をした。



# 委員会だより

昨年発覚した、高額療養費未請求問題の損失補てん決着を受け、今後万全な再発防止を推進するため委員会としては、議員・職員の倫理規定を重要テーマとして年間活動方針に盛り込みました。ついては、10月27日～30日の4日間にわたり、議員・職員の倫理条例を制定している先進地を視察しました。

視察先の、東京都多摩市、国分寺市、八王子市では「条例制定における問題・課題は何か」を中心に、条例策定における留意点や罰則規定の考え方について、調査を行いました。

現在、民間企業をはじめ公共機関においても、コンプライアンス（法令遵守）が強く求められており、時代背景・ニーズに適合した積極的な取り組みが重要であることから視察結果を踏まえ精力的に活動を展開することとしています。

より具体的な内容については、次回議会だよりで報告いたします。なお、視察報告書は11月上旬を目途に作成し、ホームページに掲載することとしています。

## 生活・福祉委員会

○当委員会では左記のとおり活動してまいりました。

6月26日

●し尿処理施設の閉鎖計画、新型インフルエンザに係る経過報告について

8月10日

●女性特有のがん検診推進事業について

●生活習慣病予防対策事業などについて

●児童アيسサービスセンター療育機能強化事業について

9月3日

●青葉児童館の現地視察について

●要保護児童の対応状況について

○第2回定例会で付託された案件は、出産一時金を42万円へ引き上げる条例改正と青葉児童館が新設されることに伴う児童館条例の一部改正についてでした。

主な質疑として、

●国保加入者の対象者数について

●分娩のトラブル発生への対応、相談窓口について

●青葉児童館の事業費および利用想定児童数について

●児童館の建設年度および利用想定児童数について

などの質疑があり、全会一致で両案とも可決いたしました。

## 観光・経済委員会

●水道事業に関わる、室蘭市との分水解消の問題について、7月14日に所管事務調査として、旭川市と東神楽町との分水解消手法の事例研究を行いました。分水供給には、事故発生時の責任所在の問題、安定的な恒久水源の確保の課題などがあります。今回の事例は、当市と室蘭市の諸事情とは異なる部分もありますが、将来に向けての一手法として今後の展開に役立つものと考えております。



▲東神楽町視察

●10月6日～9日まで、長野県長野市、安曇野市、小布施町への行政視察を行いました。テーマは、産業振興ビジョン、くらしの助け合いネットワーク「あんしん」の取り組み、地域ブランド構築と観光客誘客への取り組みについてです。

## インターネット中継スタート!!

### 第2回定例会において試行配信

登別市議会では、議場にパソコンを持ち込むことができるなど、全国的に例のないIT化の推進を積極的に行ってきたいます。本定例会からは、議会中継をスタート（試行）して、傍聴できない市民の皆さんなどへ情報公開度のアップを図りました。

#### ◎導入までの経過

中継システムの導入に関しては、議会改革に関する議長諮問事項を受け、平成19年9月から小委員会を設置して、実現へ向けた具体的な活動を展開してきました。結果として、既存設備を有効利用することで経費も圧縮でき導入に至りました。

#### ◎登別市議会の中継・特徴は

議会中継は、他の市町村でも実施しているところが増えていますが、その殆どは本会議中継が中心に行われています。

登別市議会の特徴は、各種委員会など全ての会議に対して、生中継（ライブ）と録画中継（ビデオ5年間分）を配信することです。

更に、システム導入の際に設置されたテレビモニターを利用して、調査データなどを図やグラフにして表示するなど、質疑の精度や理解度を高めることが可能となりました。



# インフルエンザについてのお知らせ

問い合わせ  
健康推進グループ  
(しんた21内・☎850100)

## 新型インフルエンザのワクチン接種について

新型インフルエンザの免疫をつけ、死亡者や重傷者の発生をできる限り減らすため、次の順位でワクチンの任意接種を行います。

### ▶接種順位・対象・接種開始予定時期

接種順位	対象	接種開始予定時期
1	インフルエンザ診療に直接従事する医療従事者	10月後半
2	基礎疾患のある方	11月前半
3	妊婦	11月前半
4	1歳～小学3年生に相当する年齢の子ども	12月後半
5	1歳未満の子どもの保護者または優先接種対象者のうち、身体的な理由により予防接種が受けられない方の保護者など	1月前半

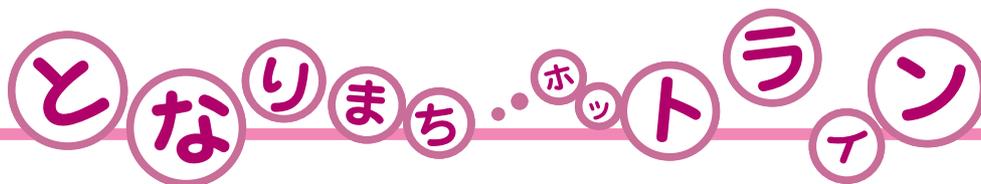
- ▶接種医療機関 かかりつけ医にご相談ください
- ▶接種回数 2回
- ▶接種料金 1回目：3,600円、2回目：2,550円  
※市民税非課税世帯は、負担軽減を行います。
- ▶申込方法 医療機関に直接（実施日・時間は事前に問い合わせ）お申し込みください

## 高齢者対象の季節性インフルエンザ予防接種を実施します

- ▶対象 65歳以上の方、または60歳以上65歳未満で心臓、じん臓、呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害で身体障害者手帳1級の方
- ▶実施期間 12月31日(木)まで
- ▶実施場所 登別・室蘭市内で季節性インフルエンザ予防接種を実施している医療機関
- ▶接種料金（自己負担額） 1,050円  
※対象者のうち次の方は無料となります。
- 市民税非課税者や生活保護受給者（接種時に介護保険料納入通知書または介護保険料額決定通知書、市民税課税証明書（有料）、生活保護受給証明書のいずれかを持参してください）。
- 市の国民健康保険または長寿医療制度に加入している方（接種時に保険証を持参してください）。
- ※接種時に上記書類の確認ができない場合は、有料となります。
- ▶申込方法 医療機関に直接お申し込みください

## 新型インフルエンザと疑われる場合の病院受診方法について

急な発熱、咳、のどの痛み、鼻水などインフルエンザの症状のある方は、医療機関で直接受診できますが、必ず事前に医療機関に電話連絡してから、受診時間帯や受診方法などについて指示を受けてください。  
※受診するときは、必ずマスクを着用しましょう。  
※慢性の病気などをお持ちの方は、まず『かかりつけ医』に相談しましょう。



### 白老町

#### 『めむの会』

#### 森のクラフト体験参加者募集

手作りのハガキやしおりに作ってみよう！

- ▶日時 11月28日(土) 9時～12時
- ▶場所 ポロトの森ビジターセンター
- ▶内容 採集した落ち葉やストックした押し葉などを使って、手作りのハガキやラミネート加工したしおりづくりを体験します
- ▶参加料 500円（中学生以下250円）
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶申し込み 11月27日(金)16時までに電話で『めむの会』有田さん（☎090-8938-1511）

### 室蘭市

#### 『スケートリンク』が 11月1日にオープン

- ▶開館時間 平日…12時～18時、土・日曜日、祝日…10時～18時
- ▶休館日 月曜日  
※月曜日が祝日の場合は、その翌日が休館日です。
- ▶場所 室蘭市中島スポーツセンター
- ▶入場料（1人1回） 400円、65歳以上300円、高校生200円、小・中学生100円  
※未就学児童は無料。  
※お得な回数券もあります。
- ▶問い合わせ 室蘭市中島スポーツセンター（☎450800）

### 伊達市

#### ピアノ(高木洋子)&ギター(阿部 博) クラシックジョイントコンサート

- ▶日時 11月25日(水) 19時～
- ▶場所 だて歴史の杜カルチャーセンター講堂
- ▶内容 一部（ピアノソロ）：パストラル（J.ロドリゴ）、オリエンタル（E.グラナドス）ほか、二部（ギターソロ）：アルハンブラ宮殿の思い出（F.ターレガ）ほか
- ▶入場料 当日券2,500円（前売券2,000円）、学生無料（入場整理券をだて歴史の杜カルチャーセンターで限定配布）
- ▶問い合わせ だて歴史の杜カルチャーセンター（☎0142-21515）

人のうごき（平成21年9月末日現在）／人口52,664（-88） 世帯24,970（-51）（ ）は前月比

発行・編集／登別市総務部政策推進室情報推進グループ 〒059-8701 登別市中央町6-11 ☎0143-6586 0143-1108  
ホームページ：http://www.city.noboribetsu.lg.jp Eメール：pr@city.noboribetsu.lg.jp

この広報紙は古紙配合率30%の紙を使用しています。